

事業概要：地域づくりの新たな担い手となる関係人口創出・拡大プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	山形県ほか 6 自治体※	初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	389,998千円 (112,703千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・地域活力の維持・向上に向け、地域の課題解決等に必要な「活動力」を、地域内外を問わない多様な主体から確保する。 ・都市部企業等の活力を地方で有効に活用できる流れをつくる。 ・関係人口や移住者などを受け入れ、ともに地域活力を創造するための地域側の基盤を強化する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 関係人口の創出・拡大・深化を図るため、地域課題を都市部企業の強みと結び付けるマッチングと伴走支援、都市部の副業人材を中小企業と繋ぐ取組、学会誘致や短期滞在モデル事業を実施する。また受入体制強化として、専門アドバイザー派遣や研修、中間支援団体による現場支援・育成、外国人関係人口の実態調査と有識者会議設置で受入促進と定着支援を進める。 【R8年度事業 経費内訳】 ・地域等と都市部企業等とのマッチング、協働等への支援 43,334千円 ・副業・兼業人材と県内中小企業とのマッチング等 2,500千円 ・学会や大会等の誘致支援、県内での暮らし体験事業による関係人口等の裾野拡大 40,010千円 ・関係人口や移住者などの受入れに向けた研修会など 19,762千円 ・外国人関係人口創出拡大等に向けた機運醸成 7,097千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①山形県へのUIターン者数（県移住相談窓口を通じて移住した人数）（+52人） ②事業により創出した関係人口数（+587人） ③事業により創出した交流人口数（+22,997人） ④事業により関係人口を受け入れる体制が整った地域・団体等数（+244地域・団体） URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html		

※山形県、鶴岡市、酒田市、寒河江市、尾花沢市、朝日町、飯豊町の広域連携事業

事業概要：イノベーション・DXの推進とブランド力の強化による地域産業の競争力強化事業

旧制度（推進）

申請者	山形県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	332,789千円 (71,563千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・本県の強みであるものづくり産業のさらなる活性化を図る ・DXの推進による県内企業の競争力強化を図る ・新たな技術を起点とした人材育成・ビジネス創出を図る ・戦略的なブランドプロモーションにより県産品の認知度向上・販売促進を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ものづくり産業における創業・事業化支援によるイノベーションの創出、県内企業の競争力強化に向けたDX推進、新たなデジタル技術を核とした人材育成・ビジネス創出及び県産品のブランド力を強化する取組みを通して、県内産業の高付加価値化を図り、人口が減っても豊かさを実感できる地域社会を実現することで、次の世代に引き継ぐ価値を持つ地域となることを目指す。 【R8年度事業 経費内訳】 ・ものづくりスタートアップ支援（補助金等）12,230千円 ・デジタル人材の養成事業の展開（委託料等）14,248千円 ・XR関連産業新興に向けた基盤構築（委託料等）28,276千円 ・県産品のブランド力強化（負担金等）16,809千円 現状・課題 ○事業所数の減少 ○デジタル人材の不足 ○県産品の認知度不足 いずれ ・地域経済の停滞 ・県内産業の競争力低下 を招く恐れ 事業の方向性 方向性① 新たな価値を生み出す イノベーションの促進 方向性② 既存のものの価値を 高めるブランディング 事業の展開 1.ものづくり 産業のさらなる 活性化に向 けたスタート アップ支援 2.県内企業 の競争力強 化に向けた DXの推進 3.新たな 技術（XR） を起点とし た人材育成・ ビジネス創出 4.県産品のブランド 力を高める情報発信・ 販売促進活動の展開 目指す姿 県内産業の高付加価値化 県民所得の拡大 人口が減っても豊かさを実感できる地域社会の実現		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①山形県における新規雇用者数（+90人） ②一人当たりの県民所得（+350千円） ③本事業を通して新たにDX認定事業者に認定された県内企業数（+12社） ④物産展開催会場総数（+3件） URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html		

事業概要：山形のスポーツや山形ならではの文化芸術など観光以外の

多様な目的での来県者を観光に誘導する新たな県内周遊促進事業

継続

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,805千円 (17,402千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域事業者とともに、データに基づいた議論を行い、スポーツや文化芸術を目的とした来県者に+αの消費、もう1泊山形に滞在したくなるような、行動変容を促す仕組み作りを行うことで、観光消費額を拡大し、持続可能な観光地域づくりと地域経済の好循環の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 スポーツや文化芸術を目的とした来県者の行動データを、デジタル技術を活用して収集・分析する。分析を基に、観光に誘導するための仕組みづくりを検討・展開する。 R7年度に実施した、県内プロスポーツの観戦客の行動データを基にした課題の明示と課題解決のための新たな取組み（モデル的な実証事業）について、ブラッシュアップを行うとともに、文化芸術を目的とした来県者の行動や嗜好に関する現状分析と課題の明示を行う。					 スポーツ観戦・芸術鑑賞 データ活用による行動分析、実証事業の展開 宿泊・観光地への誘導	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・データの収集・分析を基にした実証事業（委託料）：17,402千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内観光消費額（+414億円） ②県内延べ宿泊者数（+567人泊） ③県内平均宿泊数（+0.03泊） ④新たな実証事業の取り組み数（+3件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

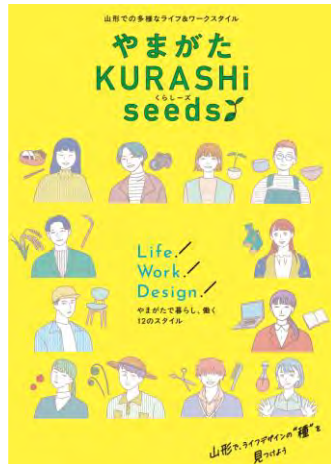
事業概要：国内外の市場に向けた県産農産物等の販売拡大事業

継続

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	133,080千円 (41,142千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・少子高齢化による国内市場の縮小やデジタル化の進展等に伴う消費者ニーズの変化など、環境の変化に対応できる持続可能な食料供給県やまがたを実現するため、国内外の市場に向けた県産農産物等の販売拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・少子高齢化による国内市場の縮小、海外市場の拡大、デジタル化の進展やコロナ禍を経た消費者ニーズの変化など、環境の変化に対応するため、販売チャネルの多様化、新商品開発支援、輸出の促進等、国内外の市場に向けた県産農産物等の販路開拓・拡大を図る。					 ※商談会開催イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○多様なチャネルを活用した農林水産物等の販路開拓・拡大 ・大規模展示会・合同商談会の開催等による販路開拓・拡大（補助金等）8,964千円 ・水稻新品種「ゆきまんてん」の販路開拓（負担金） 10,000千円 ○産業間連携等による地域資源を活用した新たなビジネス創出 ・多様な主体との連携強化による新商品開発（補助金等）9,738千円 ○県産農産物の輸出拡大 ・県産米及び県産牛等のプロモーション（委託料等） 6,430千円 ・県産農産物等の輸出事業者への伴走支援（委託料）5,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①山形県における農林水産出荷額（±0億円：現状の水準を維持） ②支援事業による新たな販路への取引額（+2.1億円） ③支援事業により商品化した件数（+36件） ④山形県産農産物の輸出額（+3.25億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：誰もが活躍できる地域づくり推進事業

継続

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	243,465千円 (78,106千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・一人ひとりが幸福を実感できる活力ある地域づくりを進め、「若者・女性の県内定着・回帰、外国人材の受入・定着の促進に向けた、魅力的な働きやすい、暮らしやすい山形県」そして「多様な人材が活躍できる山形県」を目指すため、次の取組みを実施する。 ①若者の地元定着・回帰を促進するため、若者や女性が地域で活躍できる環境の整備②性的マイノリティに対する理解の促進③外国人が地域社会に溶け込み、活躍できる環境づくりの推進④外国人材の受入・定着の促進⑤多様な価値観や生き方を受け入れることができるよう意識面での「土台（基盤）」の構築（アンコンシャス・バイアスの解消）						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 県内若者との意見交換会の結果、山形では活躍の場が無いとの思い込みがあることが判明したため、若者目線での山形の良さを再認識してもらうための情報発信を行う。また、若者に加え誰でも県内で活躍できるよう、多様な価値観を受け入れることができるための環境づくりや、促進や外国人の活躍を推進するため、アンコンシャス・バイアスの解消に向けた啓発や、県内企業の外国人材採用活動を支援する「外国人材採用支援デスク」の運営等を行う。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・山形での多様な働き方や暮らしについてWebサイト等で発信 （委託料）6,098千円 ・アンコンシャス・バイアス解消に向けた啓発CMの作成・放映 （委託料）7,000千円 ・企業の外国人材採用活動を支援する「外国人材採用支援デスク」の運営 （委託料）12,776千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数（若年層の転出超過数の改善）（+90人） ②外国人（全年齢）の転入超過数の前年からの増加数（+300人） ③増加した多文化理解講座参加者数（+2,613人） ④情報発信事業へ参加した若者数（+60人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要： GX関連産業への参入促進による稼ぐ力の向上

継続

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	178,552千円 (55,578千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	企業における脱炭素の取組を推進し、企業価値の向上による市場優位性を確保するとともに、市場拡大が見込まれるGX関連産業への新規参入を促進し、企業の「稼ぐ力」の向上を図る。また、本県の強みである産官学連携により培われた技術力や技術シーズを活用した新製品・新技術開発を促進し、本県産業の付加価値額の増加を図る。							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 県内企業の脱炭素経営の推進に向けて、GXに関する研究会を立ち上げ、県内企業が学び・情報交換する機会を創出する。また、学術・研究機関等と企業が共同で実施するGX・CN関連技術・製品の開発への補助や、産学官連携コーディネーターの配置等により、GX関連産業分野の技術力・開発力の向上を図る。 更には、GX関連産業への参入、取引拡大・新規顧客の獲得に向けて、取引支援を行う専門人材を配置し、県内外の企業とのビジネスマッチングや商談機会の創出を図る。					【GX関連技術・製品の開発例】 石油代替素材（キュプラ）の耐洗濯性・防しわ性向上のための加工技術の開発 (東北整練／米沢市)  防しわ性向上加工の効果 有機塗装を用いない建築用金属パネルの開発 (山形メタル／新庄市)  試作パネル製造工程の一部		
	【R8年度事業 経費内訳】 <u>1 脱炭素経営の推進</u> ・省エネに係る勉強会・情報交換会の開催（謝礼等250千円） ・GX・CN研究会を設立し、勉強会や共同試作会等を実施（消耗品等766千円） <u>2 脱炭素化等GX関連産業分野の技術力・開発力の向上</u> ・関係機関と企業が共同で実施するGX・CN関連の技術開発支援（補助金等12,042千円） ・産学官連携コーディネーターの配置支援（補助金11,646千円） ・ナノテラス利用料等の支援（補助金等6,522千円） <u>3 脱炭素経営に取り組む企業の取引拡大とGX関連産業の創出</u> ・次世代モビリティ産業参入促進のための商談会の開催、洋上風力関連産業参入促進のための勉強会の開催（補助金等10,752千円） ・取引支援を行う専門人材の配置（補助金：13,600千円）							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規雇用者数（+105人） ②新規顧客獲得数（+150件） ③脱炭素経営に取り組む企業数（+900件） ④企業がGX関連の技術開発に取り組む件数（+30件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：地域課題解決型ビジネス創出事業

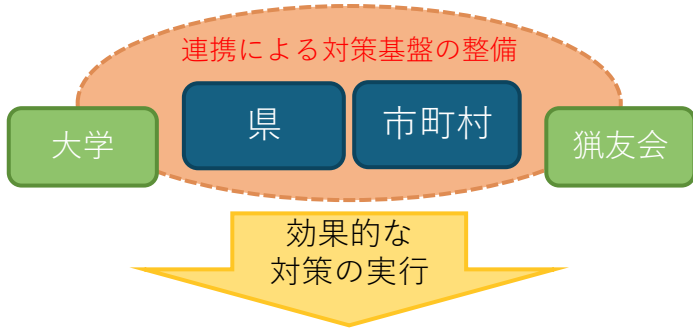
継続

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	39,760千円 (12,237千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 深刻な地域課題をビジネスで解決し、経済効果を生み出すことができる地域課題解決型ビジネスの創出支援の体制を県内各市町村が構築できるよう支援することにより、県全体の稼ぐ力を向上させ、人口が減っても収益は減らない地域、持続可能な地域を形成する。事業拡大により、地域内雇用の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 深刻な地域課題をビジネスに変換し、経済効果を生み出す地域課題解決型ビジネスの創出は地域経済を維持していくため、市町村が地域課題解決型ビジネスを創出する際、これまで県が育成した若手コーディネーターを希望する市町村に派遣し、現地での実践を通してノウハウを伝授していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ● 公益財団法人やまがた産業支援機構に対する補助金 12,237千円 ・ コーディネーターの派遣費用 ・ 定例打ち合わせの開催費用 ・ 事務局関連経費 等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 厚生労働省調査の「雇用保険事業年報」に基づく事業所開業率（+0.3ポイント） ② ビジネス創出の支援体制構築に着手した市町村数（+9市町村） ③ コーディネーターが各市町村において支援する事業数（+30件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	126,122千円 (44,991千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- デジタル技術を活用し山岳資源の魅力を発信し来訪を促すことにより観光消費額の増加等を図る。 - 登山者等と山岳自然保全団体との交流を促進し、山岳資源保全の担い手の確保を図る。 - 四季を通じた山岳リゾートの情報発信、地域間連携による周遊促進等を通じた山岳観光地域づくりに取り組み、山岳観光地の観光者数の増加を図るとともに、本県の代表的な自然景観である樹氷の復活・再生を推進する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 山形県の魅力そのものである「山」のさらなる魅力向上・発信による利用（誘客）拡大、自然環境（観光資源）の保全を両輪とし一体的に事業を展開し、山がもたらす多彩な自然を活かした持続可能な経済活動の推進と交流人口・関係人口の拡大、地域活性化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 - デジタルスタンプラリー及びウェブサイトでの情報発信（委託料） 7,831千円 - 山岳遭難防止に向けたアプリデータ分析（委託料） 3,500千円 - 山がもたらす多彩な自然・文化に関する山岳魅力発信動画制作、発信によるプロモーション（委託料、事務経費） 7,146千円 - 山岳環境保全体験ツアーの開催（委託料） 4,000千円 - 山岳観光地域づくり（報償費、負担金、事務経費） 8,800千円 - 樹氷復活計画づくり（委託料、事務経費） 13,714千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+414百万円） ②旅行での延べ宿泊者数（+567万人泊） ③山岳観光地の観光者数（+141.9千人） ④山岳保全活動参加人数（+35人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：持続可能な野生鳥獣被害防止に向けた体制整備

継続

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	147,660千円 (59,447千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	山形県の基幹産業である農業に、鳥獣に負けずに安心して継続的に取り組むことができるよう、地域において持続可能な野生鳥獣被害防止対策のための基盤整備を行いつつ、必要な対策を実行に移す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 地域において持続可能な野生鳥獣被害防止対策のための基盤整備を行いつつ、必要な対策を実行に移すもの。 ①基盤整備として、地域における持続可能な被害防止体制に係る検討を行い支援組織の設立を目指すとともに、野生鳥獣の生息状況調査を行う。 ②必要な被害防止対策として、地域におけるツキノワグマを寄せ付けないための取組の支援及びイノシシ被害抑制のための捕獲対策の強化を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○被害防止対策基盤整備事業 ・連携体制の検討経費：9,683千円 ・鳥獣に係る調査経費：2,637千円 ○被害防止対策実行事業 ・ツキノワグマ対策経費：16,750千円 ・イノシシ対策経費：30,377千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業によるイノシシ及びツキノワグマによる農作物被害の抑制額（+7,200千円） ②本事業により被害防止対策に係る連携体制に取り組む市町村数（+30市町村） ③本事業によるツキノワグマ対策支援数（+210地区） ④本事業によるイノシシ捕獲の増加数（+900頭）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：生産者が安心して取り組める魅力的で持続可能な水産業促進事業

継続

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,377,627千円 (237,865千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	水産業を取り巻く、漁業の担い手の減少、気候変動等による漁場環境の変化及び水産資源の減少等の課題を克服し、漁村及び内水面漁業地域の振興を図るため、県、市町村、水産業者、県民等が一体となって事業に取り組み、水産業の担い手の流入と水産業の魅力向上の好循環を実現し、本県水産業の持続的な発展を目指していく。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 港施設の整備及び付加価値向上施設の整備を通じて漁獲物の安定供給、高付加価値化を促進し、ブランド魚種の消費者への普及等を通じて県内水産物の消費拡大することで、漁家経営の安定化を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・漁業者や自治体で構成する県産魚種のブランド化を進める団体への負担金 800千円 ・漁業者や流通業者で構成する県産水産物の消費拡大のためのイベント等実施する団体への負担金 1,035千円 ・庄内浜文化伝道師による魚食普及活動経費等 1,758千円 ・水産加工品の開発にかかる経費等 1,254千円 ・サクラマスの種苗生産、放流にかかる経費等 2,954千円 ・地元のニーズにあった放流事業に対する補助金等 4,922千円 ・漁業者等が実施する成長産業化等に資する事業に対する補助金等 6,142千円 ○インフラ整備事業 ・地方港湾における就業環境向上に資する整備費用等 219,000千円					整備前 整備後 ブランド「庄内北前ガニ」 庄内浜文化伝道師の料理講座 漁港における陸揚岸壁屋根の整備 漁業者の就業環境の整備		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①海面漁業生産額（+9.4億円） ②県産ブランド魚種の平均単価（+321円/kg） ③経営体当たりの海面漁業生産額（+360万円） ④新規漁業就業者数（+174人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html	

事業概要：さくらんぼ王国果樹産地活性化事業

継続

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	277,175千円 (72,038千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・温暖化の影響による気候変動に対応する技術を導入し、果樹の安定生産を図る ・生産効率を高めるためスマート農業を活用し、生産性の高い果樹栽培を推進する ・担い手を確保するため樹園地継承データベースを活用し、園地継承を円滑に進める ・山形県産フルーツ及び果樹農業に関する情報発信を行い、消費者の理解醸成やブランド力の強化を行う						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 気候変動に伴う気象災害の頻発化や果樹生産者の減少と高齢化が進行し、果樹栽培面積の減少に歯止めがかからない。そのため、気候変動の影響に対応するための技術開発・検証、高温に強い新品種の早期開発、スマート農業技術の導入推進、樹園地継承の推進、県産フルーツの理解醸成及びさくらんぼのブランド力強化に取り組み、果樹産地の維持・発展を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・気候変動の影響に対応するための技術開発・検証 高温対策に必要な資材・設備等の導入支援（補助金）40,000千円 新品種開発早期化のための試験栽培面積の増強（需用費）2,492千円 ・スマート農業技術の導入推進 スマート農業技術開発や自立ロボット台車等の実証（委託料等）3,310千円 ・樹園地継承の推進 「樹園地データベース」システムの横展開（委託料等）1,057千円 ・県産フルーツの理解醸成 魅力発信及び知名度向上による販売促進（委託料）9,288千円 ・さくらんぼのブランド力の強化 高品質安定生産や「やまがた紅王」のブランド確立（報償費等）13,647千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 1 経営体当たりの果樹産出額（+161万円） ② スマート農機を導入した果樹経営体（+35経営体） ③ 「樹園地データベース」システムを介した農地の出し手と受け手のマッチング成立件数（+78件） ④ 支援を受けてさくらんぼの高温対策に取り組む樹園地の面積（+509ha）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：山形らしい「おもてなしの心」で全ての人々を受け入れ多文化共生社会を観光面から
実現する「アクセシブルツーリズム」推進事業

継続

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	193,460千円 (46,460千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・年齢や性別、国籍、障がいの有無、宗教、生活習慣等に関わらず、すべての観光客を受け入れる「アクセシブルツーリズム」の推進に向け、①機運醸成・意識向上、②受入環境整備、③アクセス性向上の3本柱に一体的に取り組む、観光消費額の増加等を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 山形県全体でアクセシブルツーリズムを推進するため、観光事業者の機運醸成と意識向上、バリアフリーや多言語対応など受入環境の整備、さらに仙台空港を起点としたアクセス性向上に取り組むものである。これにより、多様なニーズを持つ観光客が利用しやすい環境を整備・可視化し、県内周遊の促進や満足度向上、ひいては観光客数・消費額の拡大につなげる。					 車いす対応客室  オストメイト  入浴用具貸出  貸 【主なバリアフリーマーク】	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①機運醸成・意識向上 ・研修会の開催（委託料）：1,980千円 ・デジタル技術を活用した県内観光施設の情報発信（委託料、事務費）：1,980千円 ②ソフト・ハード両面の受入環境整備 ・観光地の広域連携モデルの検討（委託料）：10,500千円 ・県内観光関係事業者の施設・設備等整備への支援（補助金）：10,000千円 ③県外からのアクセス性向上 ・仙台空港からのアクセス確保（負担金）：22,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内観光消費額（+414億円） ②「観光施設における心のバリアフリー認定制度」における本県認定施設数の全国順位の増加数（+12位） ③「観光施設における心のバリアフリー認定制度」における本県認定施設の数（+63施設） ④60歳代以上の観光者数（+1,334.1千人） ⑤仙台空港直行バスの平均乗車人数（+12.9人/便）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：県内経済をリードする成長企業・スタートアップ創出事業

新規

申請者	山形県、鶴岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	878,298千円 (327,868千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・付加価値の高い企業・スタートアップを核とした本県経済の活性化を図るために、野心的な目標に取り組み飛躍する企業、大学・公設試験機関との連携・協業に絶えず取り組むイノベティブな企業、革新的な研究・技術シーズにより最先端の医療産業に挑む県内企業、スタートアップを創出するための取り組みを実施する。 ・「100億宣言」を行う企業における売上の拡大や大学と企業におけるオープンイノベーションによる新たな価値の創造、先進的な医療産業の創出により、本県経済が活性化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、地域産業クラスターを活用し、大学の研究シーズ（エレクトロニクス・バイオ）と県内ものづくり企業の強みを融合することで、高付加価値製品の創出と社会実装を推進し、売上・利益率の向上を図るものである。加えて、精密加工技術の高度化により半導体・自動車分野等での受注拡大や取引単価向上を実現する。中小企業に対しては投資支援や伴走支援により成長を後押しし、100億企業の創出や付加価値額の拡大を目指すとともに、下請け型から研究開発型への転換により労働生産性の向上と収益力強化を図る。さらに、大学発スタートアップ創出や産学連携の促進により継続的なイノベーションを生み出し、高付加価値な雇用の創出と人材の確保・定着を通じて、地域経済の好循環の実現を目指す。					＜事業イメージ＞ 鶴岡バイオコミュニティ Tsuruoka Science Park 医療系エコシステム構築（スタートアップ創出、事業化推進） 飛躍的に成長する企業、スタートアップを創出し、若者の就業の場を確保！ 100億宣言 シンポジウム・勉強会の開催、専門人材による「100億宣言」への支援 イノベーション連携拠点 大学、企業、若者等の交流・共創（共同研究、技術相談、試作等）	
	※経費内訳はR8年度事業費 【R8年度事業 経費内訳】 〔事業①〕・シンポジウムや情報交換会等の開催（講師謝礼、会場使用料等）2,918千円 ・事業戦略の策定支援等を行うための専門人材の配置等(補助金)17,418千円 ・100億宣言企業の売上拡大に資する取り組みへの支援（補助金）44,000千円 〔事業②〕・イノベーション連携拠点の開設（備品、分析・試作加工機器等）71,931千円 ・コミュニティマネージャーの配置（委託料、賃料等）31,101千円 〔事業③〕・シェアラボの整備、運営スタッフの配置（補助金、工事費等）77,694千円 ・NCCの起業挑戦者によるスタートアップ設立モデル事業（補助金）65,592千円 ・県内医療系スタートアップ等の研究開発に対する支援（補助金等）6,108千円 ・NCC・CPOTのプロジェクトマネージャーの配置（補助金）11,106千円						
主なKPI	①付加価値増加額（+27億円） ②新たに組成されたプロジェクト数（+27件） ③100億宣言企業の増加数（+30社） ④イベントへの参加人数（+1,500人）					URL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：やまがたの音楽文化を活用した交流促進事業

新規

申請者	山形県					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	22,000千円 (6,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・文化資源を活用した高付加価値な観光コンテンツの創出により、来訪者の滞在時間延長や周遊を促進し、観光消費額の増加を図ることで、地域経済の活性化と地域の持続的発展につなげる。 ・文化の発信強化と活用促進により交流人口の拡大やリピーター獲得を図るとともに、県内の魅力認知向上と文化を軸としたにぎわい創出を実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本県の魅力ある音楽文化と文化資源を組み合わせた交流型事業を開催する。具体的には、文化施設を活用した交流型コンサートの開催や、クルーズ船内での文化 P R イベントを通じて、国内外からの集客と山形ファンの獲得を目指す。					  	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・美術館・博物館・文化財施設や外航クルーズ船での交流型事業の開催（委託料）6,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額単価（+ 4,200円/人回） ②交流型事業への参加者数（+ 580人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：ふるさと住民の誘導拡大による地域経済活性化促進事業

新規

申請者	山形県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	49,120千円 (21,342千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・今後制度化される「ふるさと住民登録制度」を活用した事業を展開し、本県関係人口の量的拡大と関係性の強化を通し、地域コミュニティが担ってきた住民生活環境維持機能の下支えといった人口減少のマイナス面の補填や、外部人材の新たな視点・ノウハウの獲得など、地域の持続可能性へ寄与していく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業の計画期間は「ふるさと住民登録制度」の開始時期を挟むことから、初年度は制度推進に向けた基盤整備を行い、2年目以降は、地域の担い手活動の情報発信力の強化を図りつつ、実際に地域に関係人口を誘導するためのPRイベント等を実施する。 施策の推進は県と市町村の連携体制のもと、それぞれの強みを生かした役割分担により、情報発信や関係人口ターゲット層への直接PR、地域での担い手活動への参加誘導まで切れ目なく施策を展開する。					施策推進体制 事業1 県・市町村連携プラットフォーム ↑ 地域活動 事業2 地域の取組みに対する顕彰 ↓ 情報発信 事業3 地域活動情報の発信強化 ↓ 関係人口誘導 事業4 首都圏での関係人口イベント ↑	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・県・市町村連携プラットフォームの構築（事務費）500千円 ・関係人口の拡大に資する取組みに対する顕彰（事務費）173千円 ・県内で展開する担い手活動情報の一元化（委託費等）12,149千円 ・情報発信力強化に向けた首都圏でのイベント開催（委託費等）8,520千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県の移住支援を受けた県外からの移住者数（+249人） ②県内の担い手活動に参加した関係人口数（+100人） ③首都圏で実施する山形県PRイベントの参加者数（+540人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：「回帰×創造」未来の山形Re:Create プロジェクト

新規

申請者	山形県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	32,667千円 (10,889千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・魅力的な県内企業における若年層（県外進学者を含む）の雇用促進・直近の若者の就職活動に対する意識を考慮した県内企業の情報発信及び若者の創出・拡大を促進していくことで、山形への若者の県内回帰促進及び県内定着につなげる。 ・一体的に事業を推進することで、県内の生産年齢人口を増加させ、地域経済の成長につなげ、持続可能な地域の形成を実現していく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 生産年齢人口を増やし、企業がより多くの生産活動ができ、成長力を高め、経済全体の規模を拡大していけるよう、「県外進学者の県内へのUターン強化」及び「県内の大学へ進学者をUターン就職させず、県内企業へ就職」の促進に向け、メタバス空間の利用や若手社員との懇談による若者のニーズを踏まえた情報提供や、クリエイティブ産業の創出・拡大による若者が魅力を感じる就業の場の確保を進める。					2 協定大学等での学生と若手社員の懇談会事業イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 1 メタバス空間を活用した合同企業説明会の実施 ・メタバス空間を活用した合同企業説明会開催（委託料等3,929千円） ※各社から出展料として合計750千円を徴収予定 2 協定大学等での学生と若手社員の懇談会の実施 ・協定締結大学等における学生と若手社員との懇談会事業の実施 (会場使用料等352千円) 3 クリエイティブ産業の創出・拡大 ・仕事内容・魅力を紹介する「やまがたクリエイティブCAMP」等の開催 (委託料等3,608千円) ・コンテンツ活用支援（補助金3,000千円）					①② 県外進学者のUターン強化 及び 大学生の県内就職促進 ・メタバスで企業情報発信 ・若手社員との懇談会開催 ✕ ③若者が働きたい職場づくり クリエイティブ産業の創出・拡大 ➡ 若者の県内回帰・県内定着 ・生産年齢人口増加 ・地域経済の成長	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①山形県へのUターン就職率（+1.4%） ②東北芸術工科大学イノベーション＆コミュニケーション研究所「就職・起業に関する調査」における県内就職を考える学生の割合（+1.5%） ③山形県就職情報サイトのセッション数（+6,000セッション）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：スマート農業プロジェクト

新規

申請者	山形県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	187,811千円 (48,311千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・果樹分野のスマート農業機器の製品化に向けた検討と実証を行い、栽培管理作業の省力化と産地規模拡大を推進し、新たな販売・流通ルートの拡大を実現する ・県内企業によるスマート農業機器の開発を行い、果樹向けのスマート農業機器の普及を図る ・衛星データを活用した農地情報の評価を行い、担い手への農地の集積・集約を推進する						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 高齢化や後継者不足により生産者の数が減少しているため、省力化と規模拡大が必要となっている。スマート農業の導入を進めているが、果樹の剪定や摘果、果実の選別・箱詰め等については自動化・省力化が進んでいない。そのため、スマート農業機器の開発や販路開拓をすることで、スマート農業機器の普及を進め、省力化や規模拡大を推進していく。					 開発機器イメージ (無人自動防除機)  製品発表イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スマート農業機器の製品化に向けた検討と試作 製品化に向けた研究と試作品の作成（補助金） 22,360千円 ・県内企業におけるスマート農業機器の開発参入促進 スマート農業に関するセミナーの開催（会場使用料等） 542千円 ・衛星データを活用した農地情報の見える化及び評価技術の開発 衛星データサービスの導入支援（補助金等） 8,119千円 果樹の樹種判別機能等の開発（委託料等） 11,220千円 ・県内企業におけるスマート農業機器の開発参入促進 スマート農業機器の購入（備品購入費） 6,070千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+130億円） ②スマート農業に関する技術の開発件数（+14件） ③スマート農機の普及台数（+400台） ④新規就農者数（+35人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：庄内空港を軸とした地域経済拡大及び観光交流拡大事業

新規

申請者	山形県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,898,570千円 (45,398千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- インバウンドを含む観光交流の拡大を図り、県内全域に新たな人の流れと経済効果を生み出すため、本県の自然、食、温泉、精神文化等、世界に誇るべき財産を観光商品として磨き上げる。 - インバウンド誘客で重要となる、庄内空港の国際線受入機能強化を行い、外国人旅行者受入数や平均宿泊数、観光消費額の増加を図り、本県経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 本事業は、空港機能強化を軸に、観光コンテンツ創出や海外プロモーションを一体的に推進し、インバウンドを含む観光交流の拡大を図るものである。国際線受入環境の整備によりアクセス性を向上させ、外国人旅行者の増加と県内周遊・滞在を促進する。これにより観光消費額の増加を通じて宿泊・飲食・販売等への波及効果を高め、雇用創出や所得向上を伴う持続可能な地域経済の形成に寄与する。					  	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 庄内空港ビル機能強化事業基本設計及び実施設計（一括発注） 141,610千円（うちR8年度45,398千円）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額単価（訪日外国人（宿泊）） （+39,567円／人） ②平均宿泊数（訪日外国人）（+1.29泊） ③外国人旅行者受入数（+637,451人） ④庄内空港への国際チャーター便就航数（+100便）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.yamagata.jp/020060/dai2sedaikouhukin.html

事業概要：山形市ならではの文化のアップデートによる地域経済活性化事業

旧制度（推進）

申請者	山形県山形市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	155,050千円 （48,961千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	山形市ならではの世界的に評価された多彩な文化を有する強みを活かして、文化から新たな経済的価値（商品、サービス、人材、事業）を生み出すムーブメントを起こし、付加価値の高い多様な産業の集積を図ることで、若者や女性、移住者にとって魅力ある労働・生活環境を創出し、人口の増加につなげ、都市の持続可能性を高めていく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民が山形市の文化に触れる機会の創出などにより、ムーブメントを起こす基盤を強化する。また、文化から新たな経済的価値を生み出すアイデアを募集するコンペの開催などにより、文化から新たな経済的価値を生み出す実践の場を創出する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ①山形市の文化を知ってもらうためのスクール事業（委託費）7,621千円 ②文化活動と学びのプラットフォーム形成事業（委託費）4,158千円 ③若者の活動支援事業（委託費）3,000千円 ④若者活躍推進プロジェクト事業 ・ワークショップ（委託費）3,993千円 ・DX研修（委託費）7,370千円 ・DX推進補助（補助金）1,000千円 ⑤アイデアコンペ開催事業（委託費）4,203千円 ⑥クリエイティブシティ見本市事業（委託費）6,857千円 ⑦メディアリンク事業（委託費）10,759千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値			
	①山形市の人口増減数（▲3,294人） ②文化・産業の基盤強化に参加した人数（+500人） ③文化から生み出された経済的価値の数（+100件） ④見本市出展者の売上高（+15,000千円）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/seisaku/1006979/1013489.html （効果検証） https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/keikaku/1006981/1002630.html

事業概要：歩いて、住んで、幸せになるまち「YAMAGATA」魅力アップ事業

旧制度（推進）

申請者	山形県山形市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	327,015千円 (68,214千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	「歩くほど幸せになるまち」の実現を目指し、中心市街地の経済活性化と若者定着を図る。 更に「蔵王」「山寺」「中心市街地」の回遊性を高め、山形市全体の魅力を向上させる。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中心市街地に人々が楽しめる場を創出し、蔵王や山寺との回遊性向上を図ることで観光客の増加と地域経済の活性化を目指す。花小路エリアでは旧料亭のリノベーションを核にまちづくりを推進し、滞在型観光の充実を図る。併せて共創ラボにより観光案内機能の高度化やデジタル人材育成を進め、回遊型イベントの実施でにぎわいを創出する。さらに国内外への戦略的プロモーションや受入体制整備、ビッグデータ分析に基づく施策展開により、持続的な観光振興と交流人口の拡大を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・旧千歳館エリア活性化協議会運営支援業務（委託料） 2,998千円 ・観光DX推進・観光プロモーション用映像制作業務等（委託料等） 13,044千円 ・各種イベント開催（委託料） 3,630千円 ・Webサイト等を活用した情報発信・海外現地プロモーション・受入体制整備（委託料、旅費等） 38,455千円 ・位置情報等を活用したデータ収集・分析業務（委託料） 9,980千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		
	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.Yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/seisaku/1006979/1013489.html （効果検証） https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/keikaku/1006981/1002630.html		



回遊促進と賑わい創出を目的としたイベントの開催 ▲▶



▲山形市の芸妓文化を継承する「やまがた舞子」



▲国登録有形文化財の旧料亭

事業概要：旧千歳館エリア・リノベーション事業

継続

申請者	山形県山形市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	403,548千円 (238,617千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・国登録有形文化財である旧千歳館を、芸妓文化や料亭文化を発信、継承する拠点とし、観光案内、宿泊、レストラン、カフェの機能を併せ持つ観光施設へとリノベーションすることで、本市の新たな賑わいを創出する。 ・民間のノウハウを生かした運営や近隣施設などと連携したイベントを開催することで、観光消費額、観光客入込数の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 旧千歳館を、国登録有形文化財としての価値を活かし、芸妓文化や料亭文化を発信、継承する拠点とし、観光案内・宿泊・レストラン・カフェの機能を備えた観光施設として改築整備する。芸妓文化や料亭文化の継承と体験型観光の提供により、インバウンドを含む高付加価値観光客の誘致を図るとともに、JR山形駅周辺に「暮らしと観光がつながる」をコンセプトに整備を予定している、日本一の観光案内所と連携し市全体への周遊を促進する。分散型ホテルの展開や庭園活用、イベント開催により花小路エリアの賑わいを創出し、中心市街地の回遊性向上と観光消費拡大、雇用創出につなげる。					 ←旧千歳館主屋 ・正面玄関前 やまがた舞子 旧千歳館改修後 ↓イメージパース（正面） 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・施設整備工事 215,251千円 ・デジタルを用いた観光案内コンテンツ・環境整備ほか 23,366千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+42億円） ②観光入込客数（+309,300人） ③旧千歳館利用者数（+17,300人） ④飲食・宿泊・カフェ事業売上高（+58,938千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/seisaku/1006979/1013489.html （効果検証） https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/keikaku/1006981/1002630.html

事業概要：山形市景観重点地区における観光地活性化事業

継続

申請者	山形県山形市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,091,118千円 (178,365千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	自然、歴史や文化を生かした統一されたまちづくり 狭隘道路の無電柱化による良好な景観形成と回遊性、防災・減災対策 景観とにぎわい、安全・安心を備えた観光地として魅力を発信し、来訪意識を喚起、観光客数の増大						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 山寺地区では、良好な景観形成を軸に観光拠点としての魅力向上を図り、交流人口の拡大と地域活性化を目指す。ビッグデータを活用した観光動態分析により需要を把握し、体験型コンテンツ開発や効果的な情報発信を推進する。あわせて、景観基準に基づく建築物改修への支援や無電柱化、道路美装化・消雪化を進め、安全で快適な空間を整備するとともに、イベント開催等により賑わいを創出し、観光消費の拡大と担い手確保につなげる。					○無電柱化・修景補助（山寺）  現状  整備後イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・元気なまち創出事業（マルシェなど R10年度実施） ・マーケティング・情報発信事業（データ分析など R10年度実施） ○インフラ整備事業 ・景観重点地区景観形成補助 8件 8,365千円 ・道路無電柱化事業 L=200m 150,000千円 ・道路美装化・消雪化事業 詳細設計委託一式 20,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+30億円） ②観光客入込数（+216,100人） ③修景補助件数（+23件） ④各種誘客イベントの開催数（+20回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/seisaku/1006979/1013489.html

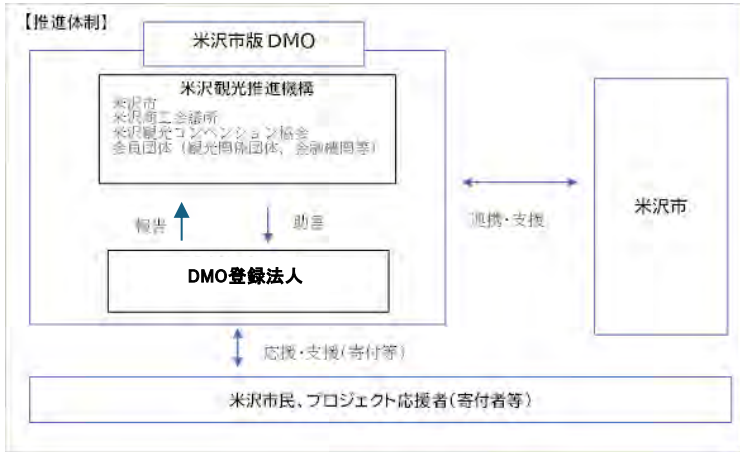
事業概要：「文化×観光」による滞在型観光促進事業

新規

申請者	山形県山形市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	112,473千円 (30,857千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・観光の柱である「蔵王」「山寺」「まちなか」を面的・有機的に連携させ滞在型観光を推進することで観光消費額の拡大を図る。 ・文化創造都市・山形市の魅力である多彩な文化資源等を観光資源としての付加価値を高め来訪者の増加を促進する。 ・ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市の強みを活かし、同ネットワークを活用し文化創造都市・山形市の魅力を国内外に発信する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「The Japan Times Destination Region2025」等の選定により、2026年以降、海外メディアにおける山形市の露出が大きく向上する可能性が高いことを観光振興に向けた絶好の機会と捉え、「蔵王」、「山寺」、「まちなか」という3つのエリアと、「まちなか」に点在する文化創造都市・山形市の魅力であり有効な観光コンテンツとなり得る多彩な地域資源等を面的・有機的に連携させ、それぞれを行き来しながら滞在型観光を通年的に楽しめる仕組みを強化する。また、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市の強みを活かし、他の連携都市との連携事業等を通じて文化創造都市・山形市の魅力を発信する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・文化創造都市ブランディングサイト開発・運営経費（委託料）2,750千円 ・ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会参加経費（旅費）1,236千円 ・「(仮称)美食都市やまがた創造会議」設立準備業務経費（委託料）700千円 ・山形交響楽団との連携による音楽交流促進経費（委託料）1,804千円						
主なKPI	①観光消費額（+25億円） ②外国人観光客延べ宿泊者数（+59,882人泊） ③観光客入込数（+303,595人） ④外国人観光客数（+80,442人） ⑤ユネスコ創造都市ネットワークにおける連携事業数（+9事業） ⑥市有文化施設（博物館等）入館者数（+10,354人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shiseijoho/seisaku/1006979/1013489.html

事業概要：米沢市版DMO設立及び推進事業

旧制度（推進）

申請者	山形県米沢市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	404,678千円 (62,602千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・人口減少による消費の減を補うため、交流人口の拡大、観光消費額の増進を図る ・地域住民や各種団体、近隣の自治体などが一体となって合意形成し、観光ビジョンに沿った施策を展開していく ・次世代に残せる魅力溢れる地域にし、賑わいと稼ぐ力を付け、地域に新たな雇用を創出するとともに、持続可能な観光地域づくりを創生する		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存の観光関係団体をはじめ、幅広い域内関係者との議論を重ね、合意形成を図り、市全体の観光機能の整理を行いながら迅速に本事業を推進していく。その上で、観光機能の取捨選択、適切な資産管理、相乗効果の高い機能の強化、業務プロセスの効率化及び生産性の最大化を図っていくほか、地域の観光事業者と連携し、データ根拠に基づいた「稼ぐ力」の創出を図っていくことで、地域経済を大きくしていく。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観光デジタルトランスフォーメーション事業（8,054千円） ・地域の魅力磨き上げ事業（20,270千円） ・プロモーション事業（16,043千円） ・地域商社事業（5,489千円） ・事務局運営（12,746千円）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①観光消費額（+3,838,000千円） ②地域アプリのアクティブユーザー数（+73,000人） ③観光情報サイトのPV数（+1,740,000PV）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL 効果検証の結果 https://www.city.yonezawa.yamagata.jp/soshiki/2/1006/4/4/1/1095.html

事業概要：持続可能な繊維関連産業の創出を目指す米沢ファッションベースキャンププロジェクト

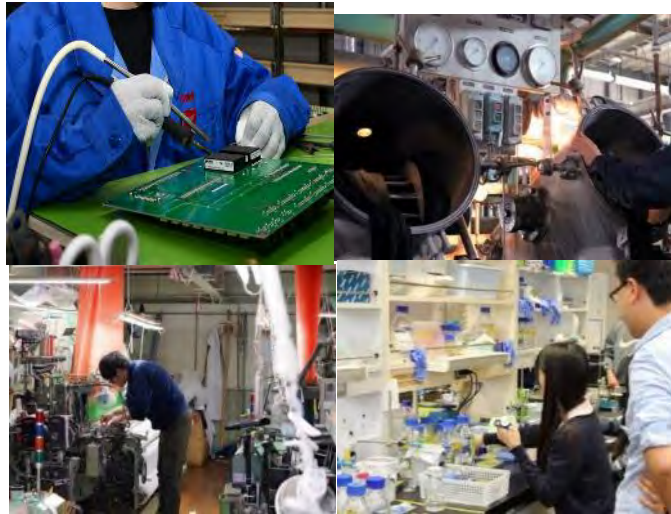
旧制度（推進）

申請者	山形県米沢市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	14,400千円 (4,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・繊維（洋装）関連企業の国際社会と調和を図りながら長期的・持続的に生産性を向上させる ・消費者ニーズを捉えた製品開発、ブランド力及び販路開拓の強化を推進する ・基幹産業である繊維関連産業の高付加価値化の実現を目指す ・産業観光等分野との連携強化により地域資源の活性化を図り、「ものづくりのまち米沢」の価値の向上につなげる		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 伝統的な繊維関連の洋装企業がデザイン、生産、ブランド力の向上等の面で連携し、独自のトレーサビリティ制度及び新たな現代ファッションの拠点形成を行うことで、サステナブルな次世代繊維産地を目指す。 【R8年度事業 経費内訳】 ・事業全体のコーディネート業務委託 3,000千円 ・情報発信事業費 1,000千円 (HP・動画デザイン作成・SNS配信等) ・勉強会・セミナー等費用 440千円 (産地ブランド力向上、トレーサビリティ制度、ロジスティクス・サプライチェーンの基礎について) ・事務費 160千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+3人） ②本プロジェクトへの参画企業数（+3者）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.yonezawa.yamagata.jp/soshiki/2/1006/4/4/1/1095.html

事業概要：産学官金連携による米沢イノベーション共創事業

継続

申請者	山形県米沢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	198,998千円 (85,826千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	米沢商工会議所が建設する新会館内に、新たな産業振興の拠点として「（仮称）米沢地域産業振興センター」を開設するための整備費を米沢商工会議所に補助し、産学官金連携による地域内外との人材交流、産業人材の育成・定着などの様々な事業を展開することで、本市の産業振興の推進を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の人手不足、中心市街地の空洞化、新商品開発、産学連携の強化、中小・零細事業者のデジタル化や生産性向上などの問題の解決に資するソフト事業の推進に加え、米沢商工会議所新会館内の「（仮称）米沢地域産業振興センター」の新設整備に補助を行うことで新産業拠点の機能構築につなげ、高付加価値な産業のまち米沢の実現を目指すもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・産業人材育成定着事業 創業支援事業 3,000千円 創業セミナー 526千円 人材定着促進事業 7,150千円 ・事業所活性化支援事業 高付加価値商品開発支援事業 300千円 商業活性化セミナー 600千円 商工業地域活性化支援事業 3,000千円 商店街活性化支援事業 3,250千円 ・新産業創出促進事業 ものづくり振興事業 8,000千円 ○拠点整備事業 ・（仮称）米沢地域産業振興センターを整備 施設整備 60,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+9人） ②市内での新規創業件数（+5件） ③(仮称)米沢地域産業振興センターの利用者数（+11,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yonezawa.yamagata.jp/soshiki/2/1006/4/4/1/1095.html

申請者	山形県米沢市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,000千円 (22,600千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、ものづくり産業が低迷している状況を打破するために、市内ものづくり関連事業者を対象として、自動化・省人化やデジタル化に対応した生産性向上に寄与する設備投資に加え、山形大学工学部や国の研究機関である産業技術総合研究所との共同研究開発及び技術移転などへの支援を行うものである。 これらの取組を産学官が連携し推進していくことで、本市のものづくり産業の高付加価値化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 産学官が連携して、地域ものづくり関連事業者の設備投資・研究開発を促進し、ものづくり産業全体の高付加価値化を推進する。 設備投資については、計画から導入、稼働まで一貫して米沢商工会議所が伴走支援し、研究開発については、山形大学工学部と産業技術総合研究所との連携により、技術移転・社会実装の支援を行うもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ●設備投資支援事業 ・各種セミナー（自動化・省人化やデジタル化等先端設備導入の内容）の開催 200千円 ・設備投資計画の策定・事業実施に至るコーディネート事業 1,200千円 ・ものづくり関連事業者への設備投資事業費補助金 17,000千円 ・事務費 50千円 ●研究開発・技術移転促進事業 ・各種セミナー（産学官連携・技術移転等の内容）の開催 100千円 ・ものづくり関連事業者への研究開発・技術移転促進事業費補助金 4,000千円 ・事務費 50千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本市製造業における労働生産性（+403万円） ②設備投資により1か月あたりの物的労働生産性が3%以上向上する事業所の件数（+15件） ③各種セミナーの受講から設備投資や産学官連携につながった件数（+15件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yonezawa.yamagata.jp/soshiki/2/1006/4/4/1/1095.html

事業概要：市民とともに、産官学が協働して地域課題解決するデジタル田園都市基盤の整備

旧制度（推進）

申請者	山形県鶴岡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	280,666千円 (35,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・市民とともに、地域の企業・行政が課題を共有し合い、一緒に解決に向けて活動することでサービス品質を向上させ、競争力のある地域とすることを図る。 ・高い生産性と自立・循環的な経済を有する都市拠点（ローカルハブ）とすることを図る。 ・市民が将来にわたって健康で安心し生きがいの持てる豊かな地域（ウェルビーイングコミュニティ）とすることを図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、住民参加型のデジタル基盤整備により地域課題の解決を図るものである。市民向け・企業向けプラットフォームを構築し、購買行動等のデータを活用したサービス向上を推進するとともに、防災情報の一元化やデジタルマタイムライン整備により防災力を強化する。さらに、健康状態の遠隔把握や中山間地域での遠隔手続きにより生活利便性を向上させる。加えて、市民参加型の課題解決の場の構築や起業家育成、デジタル人材育成を通じて、持続可能な地域づくりと地域産業の活性化を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ●いつでもどこでも市民向けサービスを提供するためのデジタル構築 ・コンテンツの運用成果検証と利用者拡大 委託料 10,000千円 ●防災情報を一元化するプラットフォーム拡大運用 ・防災情報一元化プラットフォームの試行運用及び成果検証 委託料：500千円 ●デジタルを用いた新しい市民参画の仕組みづくり ・デジタルツール運用・利用者拡大 利用料：3,400千円 ●デジタル関連新規企業創発事業 ・起業家育成プログラム実施費 委託料：7,200千円		
KPI	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ①デジタル田園都市基盤上のサービス利用者（+1,000人） ②中山間地域サービス社会実装数（+8個） ③デジタルを活用した新規事業数（+10事業） ④データに基づく地域サービスの改善数（+8個）		
URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.tsuruoka.lg.jp/s-hisei/koutyou/shingikai/kikaku/sdgsdyk/dejitaruyuusikisya.html		

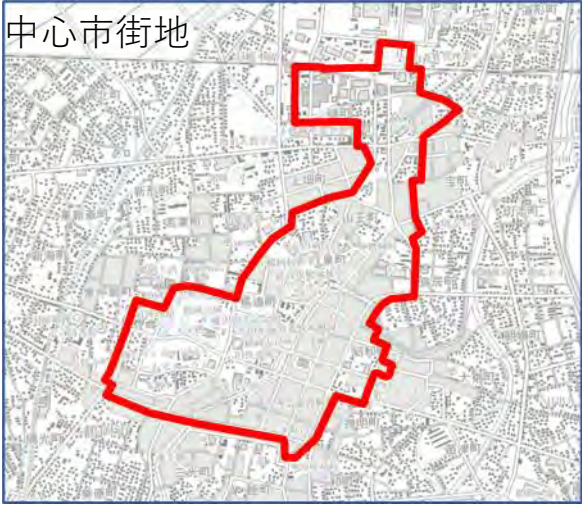
事業概要：地域の未来を共に描く若者・子育て世代の関係人口創出・拡大推進事業

旧制度（推進）

申請者	山形県鶴岡市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	18,809千円 （5,738千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・首都圏から温海地域へ新しい人の流れをつくり、さらに交流人口と関係人口の創出により地域の活性化を図る。 ・地域内外の若者が交流し、若者が継続して地域に関わる仕組みの構築を図る。 ・首都圏の子育て家族の温海地域での暮らし体験を促進し、子育て世代と地域の関わりづくりを図る。 ・若者・子育て世代から選ばれる地域を目指し、移住・定住・地元回帰の促進を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者・子育て世代の関係人口創出に向け、地域内外の若者交流と暮らし体験を推進する。若者ネットワーク構築では研修や視察、オンライン関係案内所の運営により関係人口を拡大する。併せて首都圏の子育て世代に対し、温海地域での滞在型暮らし体験や自然・教育プログラムを提供し、再訪や二拠点居住、移住の促進を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ● 若者ネットワーク創出事業 ・若者地域づくり研修費用 103千円 ・温海地域関係人口拡大推進事業(補助金) 654千円 ● 子育て世代の関係人口創出事業 ・地域紹介、受け入れコーディネート(委託料) 4,980千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若者(18-35歳)のUIターン数(+30人) ②地域内外の若者の交流イベント参加者数(+120人) ③保育園留学参加家族数(+30世帯)	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tsuruoka.lg.jp/s-hisei/sogokeikaku/matihitoshigoto/kikaku55.html

事業概要：中心市街地活性化アクセラレーション事業

旧制度（推進）

申請者	山形県鶴岡市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	31,000千円 （11,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・公民連携による小さな活性化拠点の創出を目指し、遊休物件のリノベーションを推進し、利活用促進と魅力ある個店の誘致を進め、中心市街地の商業・サービス機能の向上を図る。 ・多様なイベントの継続的な開催により、まちなかの賑わいづくりを進め、中心市街地のコミュニティ機能や活力の向上を図る。 ・将来的には、中心市街地が抱える居住、観光、交通対策などの多くの課題解決に取り組むエリアマネジメント機能をもつ組織への発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・公民連携して遊休物件のリノベーションによる利活用の支援 ・まちなか広場を利用したイベントを誘致する仕組みの構築 ・中心市街地で開催される自発的な賑わいイベント創出への支援	中心市街地  中心市街地内でのイベント開催や、エリア内の商店街などに立地する遊休物件をリノベーションにより利活用することで賑わいの創出及び活性化を図る。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・専門家による事業計画作成支援、講師謝礼、旅費、事務費等 7,000千円（補助金） ・貸出機能強化、イベント誘致、情報発信等（補助金） 3,000千円 ・イベント実施にかかる経費支援（補助金） 1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中心商店街の空き店舗数（▲15軒） ②空き店舗所有者と利用希望者とのマッチング人数（+27件） ③イベント動員人数（+12,000人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.tsuruoka.lg.jp/s-hisei/sogokeikaku/matihitoshigoto/kikaku55.html

申請者	山形県鶴岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	44,856千円 (18,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	他自治体や民間事業者等と有機的に連携しながら、国内外で積極的なシティプロモーションを展開することにより、大きな課題の1つである認知度の向上を図る。 プロモーションによって増加する観光客が、域内をストレスなく快適に周遊できるよう、2次交通を充実させることで、観光客の満足度の向上につなげる。 空き家や廃屋など、観光地においても周辺景観悪化が懸念されており、そういった地域の課題を地域のまちづくり会社が主導的に解消していく仕組みを構築することで、また来たいと思える観光地の景観を保全向上する。 ➢上記3つの取組を包括的に連動しながら展開することで、生産性を高めながら付加価値の高い旅行コンテンツを提供し、観光入込客数と観光消費を増加させることで、地域経済の維持・拡大につなげていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①知名度向上に向け、東北の他自治体と連携した首都圏プロモーション と、インバウンド向けプロモーションを展開する。 ②観光客受入体制の向上を図り、2次交通網の拡充強化に取り組むとともに、併せて外国語対応ガイドの育成研修を実施する。 ③持続可能な観光地づくりのため、民間のまちづくり会社が主導する観光地の周辺環境の保全向上に資する取組を支援する。					シティプロモーション 誘客拡大・ パートナー獲得 ▼ 観光入込客の増	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①-1 東北自治体連携首都圏シティプロモーション[委託料] 2,000千円 -2 インバウンドプロモーション[委託料] 4,000千円 ② 観光2次交通支援[補助金] 8,000千円 ③ 観光地魅力向上周辺環境整備モデル事業[補助金] 4,000千円					受入体制強化 満足度向上・ 消費単価向上 ▼ リピーター化 周辺環境保全向上	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額 (+12,228百万円) ②観光入込客数 (+12,562百人) ③観光客の満足度 (+10.1%) ④外国人延べ宿泊者数 (+10,192人泊)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：鶴岡市公共交通再編・活性化事業

継続

申請者	山形県鶴岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	97,300千円 (47,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・民間バス路線やデマンド交通等地域内交通を維持・導入することにより、交通空白地発生の防止や、解消を目指す。 ・地域公共交通を維持し、市民の移動手段を確保することで、人口の維持を図り、持続可能なまちづくりに繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和7年度は、民間バス22路線、市営バス3路線、デマンド交通5路線等により市内交通ネットワークを構築している。民間路線の維持が困難となる場合は、デマンド交通や市営バス、定時定路線型乗合タクシー等へ転換し、地域特性に応じた代替手段を導入する。藤島・櫛引・朝日地域では路線廃止に伴い運行見直しや新規導入を実施した。検討に当たっては住民ニーズを的確に把握し、多様な利用に対応する体制を確保する。さらに、利用状況の分析や実証運行を通じた検証を行い、実装後も継続的な見直しにより市内全域の移動手段の維持・最適化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域公共交通運行事業費（補助金）47,500千円						
主なKPI	①地域の人口数（▲7,150人） ②公共交通の利用者数／総人口（+0.03%） ③市営バス・デマンド交通の利用者数／エリア人口（+0.45%）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：出羽庄内国際村を拠点とした多文化共生・国際交流促進事業

継続

申請者	山形県鶴岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	439,233千円 (19,200千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ユネスコ食文化創造都市に認定されている本市の食・食文化の魅力、暮らしやすさ、拠点施設を活用した多文化共生の理解促進が図られているといった本市の魅力が、交流先や来鶴した外国人に伝わる。 ・本市を訪れた方々による帰国後のSNS等での情報発信により、本市の魅力が広く拡散され、来訪者や移住者の増加につながる。 ・海外創造都市との相互交流により、鶴岡市民にも多文化共生への理解促進が図られ、日本人も外国人も暮らしやすい地域となる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 出羽庄内国際村（拠点整備事業を活用して2025年改修、2026年供用開始）を、食・食文化を核とした国際交流拠点として位置づけ、リニューアルオープンを記念するイベントとしての国際食・食文化フェス開催に加え、本市在住外国人と市民、国内外からの観光客の交流事業等を実施し、本市の多文化共生環境の魅力を発信することにより、誘客促進・移住促進を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・施設リニューアルオープン記念イベントの開催（補助金）10,000千円 ・食・食文化体験交流事業の開催（補助金）2,000千円 ・海外友好都市との交流事業（謝礼・委託料等）3,200千円 ・出羽庄内国際村ホームページリニューアル（補助金）3,000千円 ・外国人住民と地域住民の交流促進事業（補助金）1,000千円						
主なKPI	①地域のUIターン数（+56件） ②外国人住民数（+242人） ③出羽庄内国際村の利用者数（+14,000人） ④外国人延べ宿泊者数（+4,200人）					URL	令和8年8月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

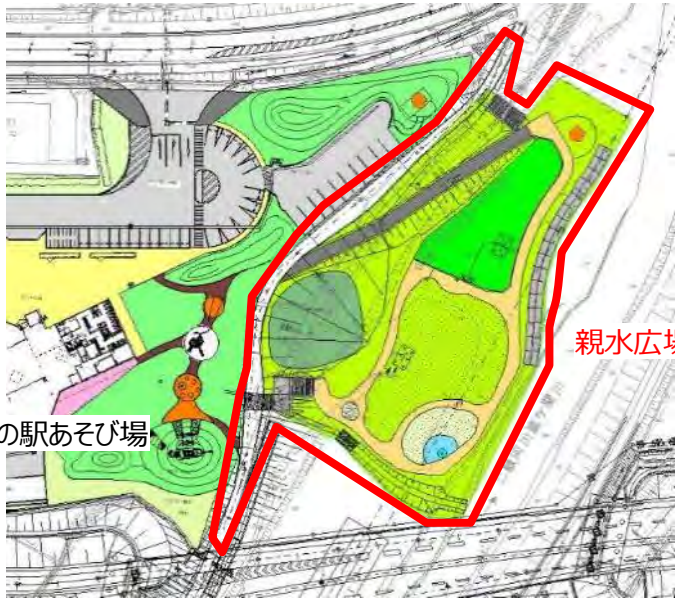
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

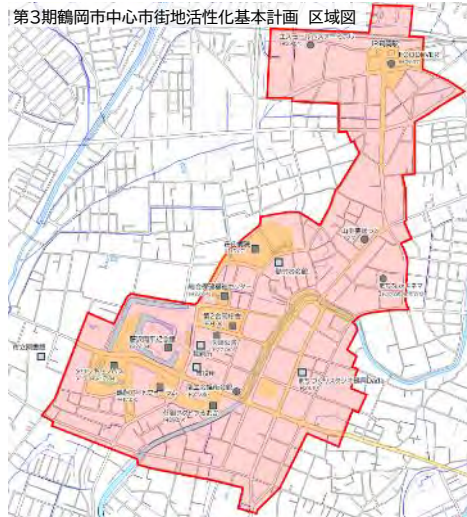
事業概要：鼠ヶ関川親水広場整備事業

継続

申請者	山形県鶴岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	104,500千円 (100,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・鶴岡市温海地域への新たなインターチェンジ整備に伴い、道の駅の移転整備が計画されている。新たな道の駅に隣接する鼠ヶ関川に親水広場を整備し、憩い・交流・賑わいの空間を生み出すことで、道の駅の機能を補完し魅力が高まるとともに、地域のまちづくりにおける積極的な利活用が図られる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新たな道の駅に隣接する鼠ヶ関川に約5,000㎡の親水広場を新設整備し、憩い・交流・賑わいの創出によって地域の魅力向上とまちづくりの推進を図る。道の駅と一体的な屋外空間として多様な滞在・体験コンテンツを提供し、目的地化を促進することで滞在時間の延長と消費拡大につなげる。また、特産品の物販・飲食との相乗効果により収益性向上や居住魅力の向上に寄与するとともに、河川空間の利活用を通じ地域住民の関与を高める。事業は河川管理者である県より河川占用許可を得て実施し、2025年度に設計、2026年度に整備工事を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・親水広場整備工事 100,000千円 新しい道の駅のあそび場と一体に利用出来る親水広場整備を行う。						
主なKPI	①温海地域の人口（社会増減数）（+8人） ②道の駅あつみ売上（+500百万円／年） ③道の駅あつみ来館者数（+70万人／年）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/sogokeikaku/matihitoshigoto/kiku55.html

事業概要： イベント広場と循環バスの利用者の利便性向上による賑わい・居場所づくり

継続

申請者	山形県鶴岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	47,000千円 (20,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	中心市街地に訪れる人の増加による賑わいの創出により、中心市街地の活性化を図る。中心市街地・生活拠点・地域拠点・小さな拠点などの集落をそれぞれコンパクトに形成して地域公共交通等で結ぶ「多極ネットワーク型まちづくり」を推進し、次世代に引き継げる持続可能な都市構造を構築していく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中心市街地を中心に民間事業者により運営される市内循環バスの利用者は現在増加しており、観光客・高齢者における今後の利用拡大も見込まれる一方で、その重要な交通拠点であるバス停においては設備の老朽化や屋根・ベンチ等の未整備が見受けられる。バス利用環境の改善のため、バス停留所の改築整備によりバス利用者の待ち時間の利便性及び快適性を向上させ、中心市街地への来訪促進と賑わい創出につなげる。 ＜工事内容＞ 屋根・ベンチ・風雨除けパネル等の整備					 ＜整備エリア図＞	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 鶴岡市バス停留所整備工事 20,000千円						
主なKPI	①市街化区域の人口増加（転入、転居）（+6,182人） ②自転車歩行者通行量（平日・休日）（+496人/日） ③主要施設の来館者数（+640人／年） ④主要なバス停の乗降者数（+23,977人／年）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/sogokeikaku/matihitoshigoto/kiku55.html

事業概要：新道の駅を拠点とした観光振興と特産品開発・販路拡大支援事業

新規

申請者	山形県鶴岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	22,703千円 (3,837千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域の多様な主体が連携し、新道の駅あつみを核とした物産振興・誘客促進の仕組みを構築することで、「関わり続ける拠点」として定着させ、交付金終了後も自立的に地域経済が循環する体制の確立を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、地域に既に存在する農林水産・加工・観光資源を再編集し、地域内での付加価値向上を図ることで経済活性化を目指すものである。具体的には、商品開発や規格化、ブランド化により単価・粗利の改善を図るとともに、供給体制の整備や運用ルールの標準化により安定供給を実現し、収益構造の強化につなげる。また、販路開拓や誘客施策と一体で展開することで需要拡大を図り、売上増加へと結び付ける。さらに、買い物機能の維持や案内サイン整備等により生活利便性や安全性の向上にも寄与し、地域経済と暮らしを支える持続可能な仕組みの構築を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・既存農産物生産者団体の組織改編、地域食材の販売体制構築支援 （委託料）3,237千円 ・新道の駅の魅力や地域観光資源を効果的に発信するため、市内外への情報発信強化 （報償費）350千円 （賃借料）50千円 （補助金）200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①鶴岡市における農業産出額（＋58億円） ②道の駅あつみ売上（＋500百万円） ③道の駅あつみ来館者数（＋70万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tsuruoka.lg.jp/seibi/nezugaseki-ic/index.html

事業概要：鶴岡市地域みらい留学推進事業

新規

申請者	山形県鶴岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	20,185千円 (1,595千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	■水産業の担い手育成を通じて、地域の水産業振興の持続的な発展と観光・交流人口の拡大を実現する。 ■県外生の保護者等が入学をきっかけに本市への来訪が増え、加茂水族館などへの観光客が増えることで、周辺地域への波及効果が高まり、「消費者」として地域を支える「経済的な関係人口」となる。 ■加茂地区に域外から若者が集い、多様な価値観が混ざり合うことで、住民一人一人が「自分らしい暮らしを実現できる場所」を実感できる、賑わいのある地域コミュニティを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ■「地域みらい留学合同説明会」参画による情報発信 首都圏中学生への情報発信については、一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォームが開催している「地域みらい留学」に参画し、合同説明会などで効率的かつ効果的に、海洋・水産教育に関心の高い首都圏中学生に向けた情報を発信し、県外生の加茂水産高校入学者の増に繋げる。 ■県外生と地元を繋ぐ「コーディネーター」配置による支援 県外生は保護者と離れて暮らすことから、生活面のサポート、地区や学校、行政とをつなぐ「コーディネーター」を配置することで、保護者への安心感を与え、地区との良い関係性を育み、加茂地区や鶴岡市を「第二のふるさと」として捉えてもらうなど、関係人口創出に繋げていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 首都圏の中学生に県立加茂水産高等学校の魅力を伝えるため、東京で開催される合同説明会へ高校生と教員が参加しPR活動（学校カリキュラム外の活動）を行うもの。 ・地域みらい留学参画負担金（合同説明会への出展費用） 1,595千円						
主なKPI	①社会増減（+18人） ②県立加茂水産高等学校の県外入学者数（+24人） ③観光客入込数（+172万人） ④水産系の新規就業者数（+1人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公開予定

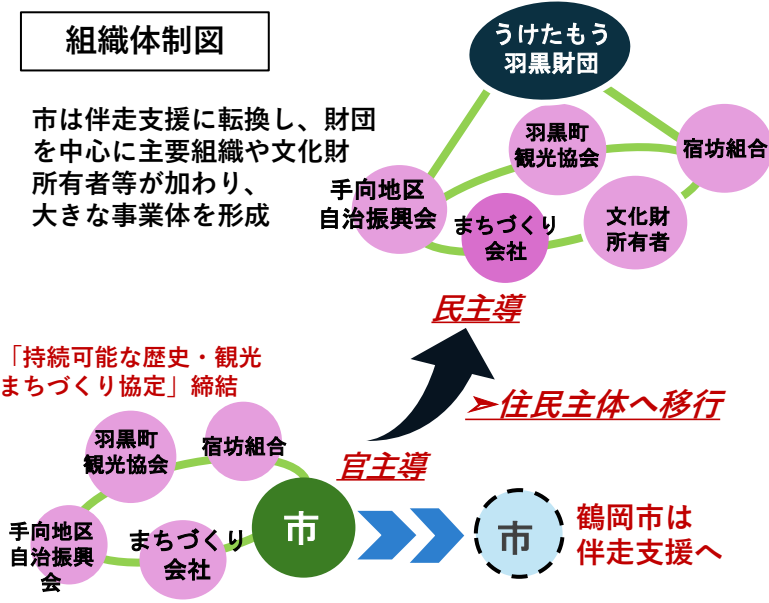
事業概要：コミュニティ・子育て拠点整備事業

新規

申請者	山形県鶴岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,592,656千円 (104,946千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	日常的にこどもから高齢者の多様な世代が集い、つながりを持つことができる多機能拠点において、こども・若者の愛着を醸成し、地域で活躍したいと思うこども・若者を増やすとともに、地域コミュニティを強化し、若者・子育て世代に選ばれ、高齢者も安心して暮らせるまちづくりを実現することで、若者の域外への流出抑制により人口減少に歯止めをかける。更に拠点が新たな目的地となることで、広域から訪れる人を増やし、市内の回遊性と滞在時間の向上を図ることで、地域経済の消費拡大と活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域コミュニティ活動の拠点であり、地域の大人が集うコミュニティセンターと、こどもの利用だけでなく、保護者や地域の大人も参加することができる遊び場（プレーパーク）の多機能により、日常的に乳幼児から高齢者の多様な世代が集い、様々な活動や交流を通じ、人と人、人と地域をつなぐ拠点施設を新設整備する。更に拠点に訪れる消費に意欲的な親子連れを増やし、鶴岡銀座商店街や鶴岡公園などのまちなかエリアへの回遊性と滞在時間の向上を図ることで、地域経済の消費拡大と活性化につなげていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・プレーパーク開設準備事業（直接経費・委託料） 992千円 ・プレーリーダー養成事業（委託料） 1,900千円 ・こどもの遊び場普及・啓発事業（委託料） 1,900千円 ○拠点整備事業 ・コミュニティセンター整備 設計費 52,500千円 ・屋内遊び場施設改修 設計費 27,682千円 ・屋外施設（プレーパーク）整備 設計費 19,972千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①こども・若者（0～39歳）の人口減少率の改善（+1.3%） ②鶴岡市の観光消費額（+15,285百万円） ③本市に住み続けたいと回答した中高生の率（+10%） ④多様な世代との出会いが生じていると回答した全利用者の率（+50%） ⑤多世代交流事業の実施数（+3件） ⑥遊び場利用者数（+11,986人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公開予定

事業概要：羽黒手向地区の持続可能な歴史・観光まちづくり推進事業

新規

申請者	山形県鶴岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	56,397千円 (2,382千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・5者協定により、官民協働の体制を作り地域の意思決定や組織連携の土台を作る。 ・GSTC研修により、持続可能な観光の国際基準を学び、観光の質を向上させ誘客につなげる。 ・財団法人の文化観光の取組を軸に、価値観を統一した情報コンテンツの作成・発信により、手向地区のブランド価値を向上させる。 ・景観を阻害する遊休施設を多様な機能を持つ地域振興拠点として資源化し、拠点を中心とした人と経済の流れを生み出す。 ・文化資源の継続的な維持並びに当地域の持つ顕著な歴史文化的な価値の普及啓発による付加価値向上と、歴史的風致を活かした稼げる事業の創出と集積による需要を拡大することで、市民の暮らしを潤し地域経済が安定した持続可能なまちづくりに寄与する						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①協定締結組織が実施する歴史・観光まちづくりに資する事業について、行動計画の進捗報告や事業連携の検討などを行いながら、官民協働の仕組みを構築する。 ②持続可能な観光の国際水準を学び、観光商品の造成や観光業やまちづくりに携わる事業者・団体・人材を育成する。 ③高付加価値で持続可能な観光地づくりのため、財団法人が行う文化観光推進の取組みの広報、啓発活動を支援をする。 ④遊休不動産（現：廃校・空き家・空き店舗等）の活用方法を検討し地域振興拠点として再整備する。 上記事業から、文化資源の継続的な維持並びに当地域の持つ顕著な歴史文化的な価値の普及啓発による付加価値向上と、歴史的風致を活かした稼げる事業の創出と集積による需要を拡大することで、市民の暮らしを潤し地域経済が安定した持続可能なまちづくりに寄与する。					組織体制図 市は伴走支援に転換し、財団を中心 に主要組織や文化財所有者等が加わり、 大きな事業体を形成 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・持続可能な歴史・観光まちづくり推進事業 324千円 ・持続可能な観光地づくりGSTC研修 1,058千円 ※うち委託料800千円 ・うけたもう羽黒財団活動PR支援事業（補助金）1,000千円						
主なKPI	①鶴岡市の観光消費額（+15,285百万円） ②鶴岡市の主要観光施設の入込客数（+12,560百人） ③羽黒山観光客数に対する協力金賛同者割合（+50%） ④手向地域振興拠点施設の来館者数（+1,900人）					URL	https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/koutyou/shingikai/kensetsu/rekisi.html

事業概要：鶴岡市における歴史的資源を活用したまちづくり事業

新規

申請者	山形県鶴岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	173,395千円 (8,858千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・歴史的建造物などの歴史的・文化的資源の保存継承とこれを活用した良好な景観・住環境の整備、まちづくりの推進 ・当該地区周辺及び中心市街地の賑わい創出と地域活性化、歴史と魅力あるまちづくりの形成による地方創生 ・数多く現存する当該地区固有の歴史的・文化的資源の保全と活用による市民やインバウンドを含めた市内外の観光客などの交流人口の拡大、また、観光客増加に伴う観光消費額の増などによる地域経済の循環促進						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 歴史的建造物所有者の高齢化や後継者不在など歴史的建造物の消失・滅失の課題を解決し、歴史的資源の保存継承とこれを活用した良好な景観・住環境の整備、交流人口拡大や地域活性化と経済の循環を促進するため、市指定史跡安倍家住宅・鶴ヶ岡城の外堀・郷土の偉人の生家跡がまともて存在する当該地の歴史的資源の啓発、散策休憩の修景施設整備及び道路拡幅を行うほか、藩政時代の武士の住宅の往時の復原整備、景観まち歩きやマップなどの啓発媒体の製作、各種情報ツールの更新等による啓発事業を行うものである。					 安倍家住宅周辺環境整備イメージ図	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・景観まち歩きやマップの作成、情報発信コンテンツの製作などによる歴史的風致維持向上計画啓発事業 150千円 ○インフラ整備事業 ・市指定史跡安倍家住宅周辺環境整備事業 8,708千円 散策休憩スポット・道路拡幅を行う						
主なKPI	①鶴岡市の観光消費額（+12,228百万円） ②主要観光施設の入込客数（+1,256.2千人） ③啓発事業の満足度の平均値（5段階評価）（+0.12点）					URL	https://www.city.tsuruoka.lg.jp/seibi/rekishitekifuti/rekisikeikakunintei.htm
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	



市指定史跡安倍家住宅

事業概要：共創コミュニティの創出・運営支援による、新たな産業振興支援事業
～個から集へのサポートで地域を変革～

旧制度（推進）

申請者	山形県酒田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	347,275千円 (65,824千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	民間企業または個人の集まるコミュニティの経済活動に対して、酒田市産業振興まちづくりセンター（サンロク）が複数のツールを用いて支援することで、「様々なビジネスプロジェクトが自律的に生まれてくる環境・インフラ」を整備し、行政が行う全く新しい産業振興及び地域活性化の形を作っていく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 酒田市産業振興まちづくりセンター「サンロク」の運営を支援するとともに、サンロクが中心となり、事業者ヒアリング等を通じてリーダー人材を発掘し、テーマ設定と仲間づくりを支援することでコミュニティを形成する。農業やものづくり、IT人材、高校生等の多様な分野で課題解決型の取組を推進し、ビジネス創出を図る。さらに、チーム庄内、三十六人衆、ローカルファンド、コワーキングスペースを活用し、資金やネットワーク、場の提供を行いながら、持続的な地域活性化と産業振興につなげる。		 サンロクIT女子コミュニティの活動拠点「Ribbon STATION」
	【R8年度事業 経費内訳】 ●人件費 5,416千円 ●酒田市産業振興まちづくりセンター（サンロク）運営協議会負担金 59,408千円 ・三十六人衆等専門家人件費、旅費 2,186千円 ・各種委託料、負担金 47,893千円 ・賃借料、事務費等 9,329千円 ●やまがたAI部活動費負担金 1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①ビジネスプロジェクト実施による売上・資金調達サポート等金額（+281,382千円） ②サンロクIT女子コミュニティに属する女性のうち、コミュニティに入る前後でwell-beingが向上したと答える人の割合（+65%）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisaku/kikaku/kikaku_chihousei/senryaku02.html

事業概要：酒田版デジタル変革推進事業

旧制度（推進）

申請者	山形県酒田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	352,505千円 (18,006千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	データ循環によるサービス創出で雇用が創出されるとともに市民が健康的に生活し続けることができる社会を目指す。具体的には、未来技術を活用し、市民のデータの収集、蓄積、活用のサイクルが回ることにより、データを活用した新たなビジネスの創出と新たなサービスの提供が行われる、持続可能なまちをつくる。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、地域課題の解決を目的に、サービス開発に必要なデータ、ユーザーの声、実証フィールドを提供し、IT企業の集積と雇用創出を図る。データ連携基盤の構築により分析精度を高め、市民参画型リビングラボでニーズを反映したサービス開発を促進する。さらに、公共施設を活用した実証環境整備や企業誘致支援、人材育成を進め、データ循環による持続的なサービス創出と地域経済活性化を実現する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 - データ連携基盤及びフロントページの運用に関する委託費 16,457千円 - フロントページの運用に関するサービス使用料 1,452千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①データ連携基盤を介したサービス利用登録者数（+40,000人） ②新規に立地したIT企業（+5社） ③リビングラボに参画する市民の数（+100人） ④PHRサービス利用登録者数（+1,000人）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.sakata.lg.jp/shi-sei/shisaku-keikaku/kikaku/kikaku_chi-housousei/senryaku02.html



申請者	山形県酒田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	86,630千円 (29,712千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	リモートセンシングによる被災農地の早期復興に向けた取り組みを推進する。 センシングの効果や活用に理解を深めることで化学肥料の低減や堆肥の活用、省力化施肥などの自立した農業生産の仕組みを構築する。 スマート農業への理解や近年の異常気象に対応する能力の育成等を組み合わせた市独自の研修システムを構築することで、農業者及び新規就農者が将来にわたり自立し稼げる農業人材の育成に取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和6年7月25日に発生した大雨災害により大きな被害を受けた本市の農業について、早期復興と気候変動に強い生産体制の構築を図る。本事業では、リモートセンシングによる被災農地の土壌診断を行い、地力回復や適切な施肥対策を促進するとともに、局所施肥による低コスト化と収量増加を推進する。さらに、有機堆肥の活用や土壌改良資材の導入、異常気象対応設備の整備を支援し、災害に強い農業基盤を確立する。また、新規就農者や既存農業者を対象に、災害対応力とスマート農業活用力を備えた人材育成プログラムを実施し、持続可能で自立した農業経営を担う人材の確保・育成を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・リモートセンシングによる被災農地の土壌診断（委託料） 3,476千円 ・リモートセンシング導入による施肥省力化対策（補助金） 160千円 ・有機堆肥活用型土壌改良対策（補助金） 2,200千円 ・異常気象の対策のための効果実証による対策検証（補助金） 300千円 ・災害対応等新規就農者育成プログラム実施（委託料） 8,014千円 ・スマート農業活用人材育成プログラム（委託料） 1,034千円 ・異常気象対応資材導入対策（補助金） 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+6億円） ②市管内に所在する2農協の受託販売取扱額（耕種）（+4億円） ③水稻収量（単収）（+12kg/10a） ④育成プログラム参加者数（+21人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisakuikaku/kikaku/kikaku_chihousei/senryaku02.html

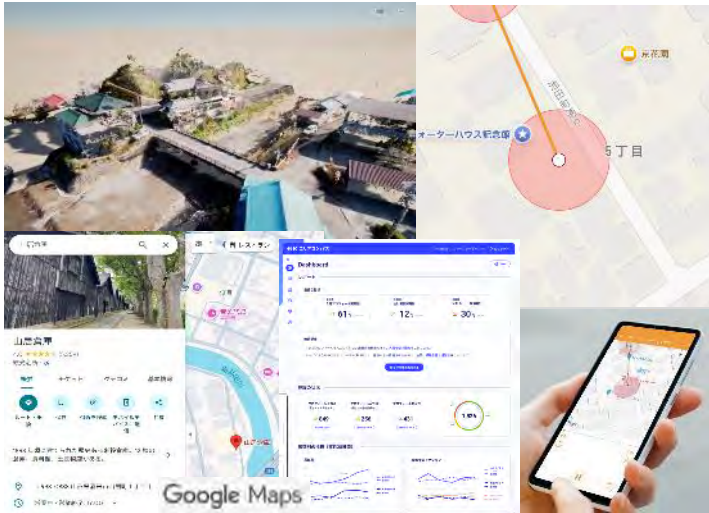
事業概要：持続可能な酒田の花火イベント構築事業

継続

申請者	山形県酒田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	95,000千円 (30,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	市民が楽しめる持続可能な花火イベントを構築し、酒田市を「楽しい地域」であると感じ、自慢したいと思う市民を増加させ、人口の社会増減への好影響をきっかけとする人口減少の抑制を目指す 財政面、体制面、安全安定面（開催日時・場所）について、実施と効果検証を3年間行い、持続可能性を高める						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市議会の意見や官民連携による実行委員会での議論を踏まえ、令和7～11年度の5か年は、市民満足を第一に位置付け、開催日時や内容を柔軟に見直しながら持続可能な大会運営を構築する。財源面では市の一定負担を前提としつつ、酒田DMOの強みを活かした観光客向け施策によりチケット収入等の増加を図る。運営体制は行政主導で基盤整備を進めつつ民間への移行を検討し、最終的な自立運営を目指す。また、安全性確保の観点から開催日時や会場を段階的に検証し、安定的な実施体制を確立する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・イベント実行委員会に対する負担金：30,000千円 ※実行委員会予算の内訳（負担金のほか、事業収入、協賛金収入等を財源とする）： 一般事業費（消耗品・印刷費等）、保険料（中止保険等）、委託費（打上煙火費、シャトルバス運行、交通及び雑踏警備、ホームページ構築・運用等）、設備委託費（会場仮設、電気等）、広告宣伝費（SNS広告等）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①酒田市の人口（人口減少の抑制）（▲5,657人） ②酒田市を自慢したいと思う市民の割合（+11.2%） ③酒田の花火イベント事業収入（+41,000千円） ④酒田の花火イベント来場者数（+10,050人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisakukeikaku/kikaku/kikaku_chihousei/senryaku02.html

事業概要：デジタル技術を活用した「山居倉庫」のハブ機能強化と
市内観光拠点の回遊性向上による地域観光の活性化

新規

申請者	山形県酒田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	34,214千円 (14,980千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・山居倉庫の魅力向上により、そこで得た「北前船と米の流通の物語」の感動をベースとした市内回遊を提案する。 ・スマートフォンを利用した多言語音声ガイドの導入により、ガイド不足の解消と、「北前船と米の流通の語」を軸とした市内回遊を案内する。 ・Googleビジネスプロフィールの登録を促進し、回遊中の立ち寄り先となる、市内観光拠点や飲食店の検索性を向上する。 ・これらをつなぎ合わせ、これまで「点」だった市内観光を、「面」へ誘導し、地域経済の付加価値を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 史跡の保全作業により立ち入りが制限されている山居倉庫の「体験の薄さ」を、3D動画や点群データによるバーチャル散歩、音声ガイドの提供により「ここでしか見られない価値」とし、「北前船と米流通の歴史」をベースとした市内回遊へつなげる。また市内観光事業者のGoogleビジネスプロフィール登録を支援し、統一的な検索方法で市内観光時の立ち寄り先を複数提案できる環境を整備していく。これにより観光客の回遊性向上を図り、観光消費の機会創出による地域経済の付加価値を高める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「魅せる」山居倉庫 「バーチャル山居倉庫」の実装 2,250千円 ・「歩かせる」音声ガイド 多言語・非接触ガイドの実装 7,200千円 ・「見つけさせる」地図アプリへ Googleビジネスプロフィール登録活用支援 5,530千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費単価（日帰り）（+539.11円） ②主要拠点入込客数（+23,181.75人） ③音声ガイド再生数（+99,896.34件） ④Googleビジネスプロフィール登録数（+60%） ⑤Googleビジネスプロフィールアクセス数（+2,163,720件）					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sakata.lg.jp/shisei/s_hisakukeikaku/kikaku/kikaku_chihouseisei/senryaku02.html

事業概要：「若者・女性に選ばれる酒田」推進事業
～関係人口のパートナーシップによる若者・女性の活躍・定着支援～

新規

申請者	山形県酒田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	72,253千円 (20,669千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「働く酒田イノベーション戦略」に基づき、市内企業の参画で「若者・女性に選ばれる企業」を増加させることを目指す。柔軟な働き方を市内企業でも実現するため、分科会参加企業には優良事例を紹介し、実践を後押しすることで、働きやすい職場環境の企業を増やし、転出超過を抑制する。また、関係人口創出・拡大を推進し、関係人口を基盤にした新たな人流の定着を目指すとともに、地域のキーパーソンや行政と関係人口の接点を最大化させ、相互作用を通じて地場産業における付加価値創出に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市が抱える「雇用のミスマッチ」「働きやすい職場の少なさ」「関係人口創出・拡大プロセスの欠如」という4つの構造的課題に対し、企業・行政が一体となった「地域の人事部」としての「内側からの変革」と、関係人口を巻き込んだ「外側からのインパクト」を連動させることで、内外両面からの解決を図り、地場産業における付加価値創出に繋げる。					内外側からの変革 内外両面からの課題解決 「働く酒田イノベーション戦略」の実施 全体会 年2回開催・分科会の取組及び成果の共有 分科会 課題ごとに年3回開催・好事例の水平展開 女性活躍 若者雇用 地元定着・回帰 地域経済を刺激しうる関係人口増加を目指し、関係人口創出・拡大へ注力 Webによる発信 首都圏イベント実施 酒田市イベント実施 地域のキーパーソンと行政 関係人口 行政のみでは想像し得ない新たな価値の創出	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・関係人口創出・拡大ポータルサイトへの掲載記事作成 1,018千円 ・関係人口創出・拡大に資するイベント開催 3,514千円 ・副業人材による関係人口創出・拡大伴走支援事業 委託費9,768千円 手数料154千円 ・ANA「BLUE SKY LIFE」活用による関係人口創出・拡大プロモーション事業 委託費750千円 ・ANA SHONAI BLUE Ambassadorと連携によるしごと留学プロジェクト実施事業 委託費 832千円 ・ANAとの連携による関係人口創出・拡大推進情報発信事業 委託費 562千円 ・関係人口等による情報発信の機会創出のためのFM放送事業 委託費 858千円 ・関係人口への情報発信と双方向のコミュニケーションツール「サカタッチ」公式LINE 手数料 251千円						
主なKPI	①人口に対する社会減 (▲303人) ②正社員求人充足率 (+4.9%) ③働きやすい職場の証となる各種認定の取得企業数 (+22社) ④ふるさと住民登録者数 (+1,000人) ⑤市内企業と関係人口等との連携プロジェクト創出数 (+160個)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sakata.lg.jp/shisei/s_hisakukeikaku/kikaku/kikaku_chihousei/senryaku02.html

事業概要：新庄市移住就農推進モデル構築事業

新規

申請者	山形県新庄市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	311,820千円 (91,320千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の農林業の担い手となる東北農林専門職大学の学生を確実に就農に結び付け、農業の付加価値向上につなげる。 ・学生の居住環境を整備し、本地域の気候・風土への理解を深めることで、確実な就農へ結びつける。 ・学生が日常的に暮らす拠点を形成し、活力ある地域コミュニティを醸成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○ソフト事業 現在農林業を担う事業体と東北農林専門職大学の学生をマッチングし、就労と定住を見据えた取組を推進する。あわせて、就農希望者のニーズ調査、移住・雇用就農のPR、新規就農に向けた伴走支援を実施する。 ○拠点整備事業 学生・若者向け住宅の新設整備により、低廉で利便性の高い居住環境を提供し、中心市街地に若者の居住拠点を形成する。町内会や祭りへの参加を促進し地域活性化に寄与するとともに、就農期間中の居住にも対応し、卒業後の定着を後押しする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・就農希望者へのニーズ調査等 200千円 ・就農PRのための媒体制作 800千円 ・専門家等招聘による伴走支援 320千円 ○拠点整備事業 ・アパート建設への補助 90,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+5.6億円） ②認定新規就農者（就農後3年以内）の農業付加価値額（+2,654千円） ③新規就農者数（+105人） ④新入学生のうち市内に居住する東北農林専門職大学生数（+234人） ⑤町内会の行事に参加する東北農林専門職大学生数（+396人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：「ヒト・モノ・カネ」循環からはじまるサステナブル・アグリプロジェクト

継続

申請者	山形県寒河江市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	196,160千円 (64,724千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	寒河江市はさくらんぼや米をはじめ、様々な農作物を栽培している。しかし、農業就業人口の年齢構成をみると65歳以上の農業従事者は年々増加。意欲の減退や販売価格低下、物価高騰などにより農業経営が圧迫され、廃業を余儀なくされる農家は増加している。そこで地域資源の循環を起点とした「稼げる農業、持続可能な農業」を確立すると同時に、省力化・新規就農・農産物生産環境の承継等への支援を強化し、担い手の確保を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農業DXを推進し、農業者の作業負担を軽減し生産コストの低減や生産効率の向上を図るとともに、新規就農のハードルを下げ農業従事者増加（ヒト循環）による生産体制の強化、高騰している化学肥料を地域内で排出されている堆肥に代替利用すること等による耕畜連携の推進（モノ循環）を図り、さらに、プロモーションを展開による本市農産物の知名度上昇等による農業者の所得向上等（カネ循環）により、「稼げる農業、持続可能な農業」を確立すると同時に省力化・新規就農・農産物生産環境の承継等への支援を強化し、担い手の確保を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ドローン作業等委託費 1,456千円 さくらんぼ繁忙期の人材確保のための団体サポート 550千円 水田地力向上対策事業補助金 1,000千円 水田農業経営確立対策事業費補助金 5,400千円 ブランド化推進事業 5,950千円 さくらんぼ産地育成支援事業 18,950千円 園芸やまがた産地発展サポート事業 17,784千円 米産地育成支援事業 5,900千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①組織化堆肥散布面積（+9.50ha） ②市内の農産物と商工業者等のマッチング数（+5.00件） ③就農セカンドライフ応援事業を活用した対象者数（+12.00人） ④もぎとり体験者数（+118.50千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sagae.yamagata.jp/shisei/zai-sei/chiikimirai.html

事業概要：寒河江百貨店を起点としたエリアイノベーションプロジェクト

継続

申請者	山形県寒河江市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	523,931千円 (25,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	「寒河江百貨店」を整備することで中心市街地エリアへの新事業展開を後押しするとともに、世界中からの来訪者の消費を官民協働で刺激することで経済波及効果を発現させ、エリアイノベーションを実現し中心市街地の魅力向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の中心市街地の核である中心市街地活性化センター（フローラSAGAE）の2階において、「ROOM（独創性の高いアート・工芸・食品などの展示販売スペース）」「STUDIO（イベント・ワークショップ等が開催可能な交流スペース）」「OFFICE（STUDIOでの交流から産み出た新たな事業を試行する企業の活動を支援するスペース）」3つの特徴的機能を併せ持つ「寒河江百貨店」にリノベーションし運営することで、国内はもとより世界各国からの人が集まる動線を創り出し、中心市街地への新たな人の流れ、世界各国のからの来訪者との交流と創造、インキュベーションから事業展開へとつなげ、スモールビジネスから新たなグローバル企業の創出を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「ROOM」「STUDIO」を活用した新たな交流と学びの機会の提供及びインキュベーション後のフォローアップ事業（委託料）15,000千円 ・創業支援事業（補助金）10,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+35人） ②フローラ・SAGAEの来場者数（+70,000人） ③新分野への進出企業数（+4企業） ④空き店舗を活用した創業数（+11店舗）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sagae.yamagata.jp/shisei/zai/sei/chiikimirai.html

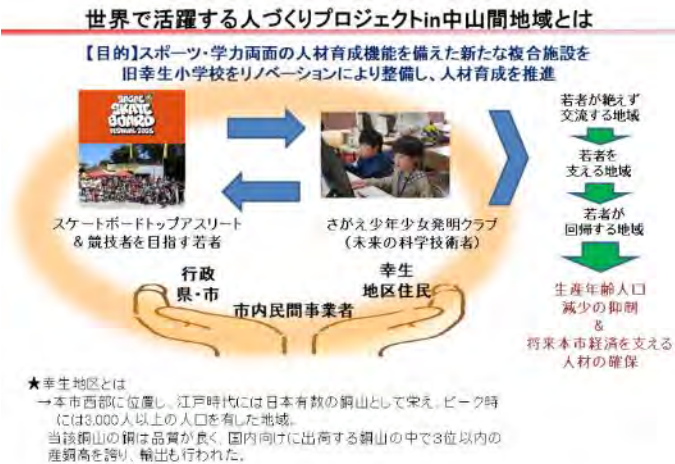
事業概要：四季折々のウェルビーイング体験プロジェクト

継続

申請者	山形県寒河江市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	135,300千円 (51,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・既存の観光資源（温泉、食など）を活用し、冬でも安定した観光需要を創出する。 ・冬季観光を強化することで、観光客の季節偏重を解消し、年間を通じた観光業とその関連業の収益安定化を図る。 ・観光ターゲットを多様化しインバウンド誘客を図り、新たな収益を確保する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 冬季観光の収益向上を図るため、イルミネーションと雪・氷を活用したイベント、プロジェクションマッピングなどを組み合わせ、暖冬でも魅力を維持できる観光プログラムを開発し、有料コンテンツ化により収益拡大を図る。併せて地酒やそば、フルーツを活用したフードペアリングを温泉等と組み合わせ、滞在時間と消費の増加を促進する。さらに、四季折々のウェルビーイング体験の掘り起こしにより通年観光を推進し、季節偏重の解消と観光業の安定化を図る。加えて、欧米・アジア市場を対象に精神文化や食・温泉の魅力発信を強化し、持続的な誘客と地域特産品の認知向上を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・冬季イベント開催費用負担金 38,000千円 ・冬季体験コンテンツ造成委託料 1,000千円 ・春、夏、秋のウェルビーイング体験コンテンツ造成委託料 2,000千円 ・インバウンド誘客事業委託料 5,300千円 ・地元特産品体験イベント開催費用負担金 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①冬季イベント参加者の観光消費額（+40,000千円） ②秋～冬（10～3月）の観光客数(+271千人) ③四季折々の体験プログラム開発数(+10件) ④宿泊客数 (+5,000人) ⑤外国人観光客数（+2,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sagae.yamagata.jp/shisei/zaisei/chiikimirai.html

事業概要：世界で活躍する人づくりプロジェクトin中山間地域

新規

申請者	山形県寒河江市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	267,325千円 (243,125千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・スポーツ・学力両面の人材育成機能を備えた複合施設を整備し、官民連携で次世代を担う人材を育成すると同時に、人材育成を通して当該施設を中心として地域に新たな交流人口・経済効果を創出する。 ・当該施設を通年でアーバンスポーツイベント等が開催可能な屋内型拠点施設とし、イベントの開催等で生じた交流人口が地域はもとより本市温泉街や飲食店街等を訪れることにより、地場産業支援の効果が市全体へ波及する。 ・本事業により育成される人材が、地区住民との交流で醸成される郷土愛に起因し将来的にUターンすることで地場産業を支え、地域経済を牽引する人材となる仕組みを構築することで、生産年齢人口減少の抑制及び将来的に本市経済を支える人材の確保を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 廃校舎体育館を活用し、スケートボード初心者スクールからトップアスリートの合宿まで対応可能な屋内拠点施設を整備する。イベント等により交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。あわせて、「さがえ少年少女発明クラブ」の活動拡充に向け、校舎の一部改修や設備整備を行い、ものづくりへの興味・関心を高め、子どもたちの創造性を育む。さらに、地域住民と若者の交流機会を創出し、人材育成と将来的な地元定着につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「ものづくりの楽しさ」啓発動画制作費用（委託料）1,500千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 188,804千円 ・駐車場増設工事 47,256千円 ・備品購入費 5,565千円						
主なKPI	①年少人口数（+0人） ②標準学力検査の偏差値平均（中学生）（+1.5） ③全国体力・運動能力調査における全国平均との対比（中学2年男子）（+5.0%） ④スポーツツーリズムを通じた交流人口数（+19,000人） ⑤アーバンスポーツ事業・イベント開催数（+12回） ⑥山形県発明工夫展等の発明コンテストへの出品数（+7点）					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.sagae.yamagata.jp/shisei/zaisei/chiikimirai.html

事業概要：地域と共に成長する森林資源を活用した寒河江型探求教育推進プロジェクト

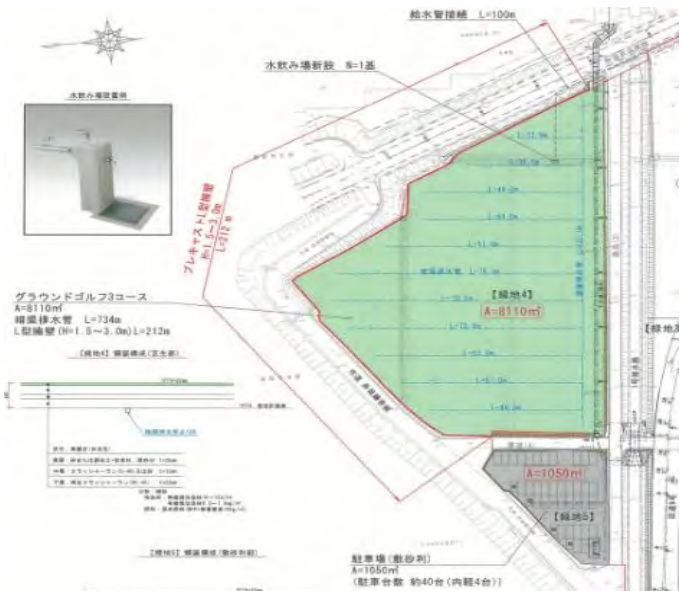
新規

申請者	山形県寒河江市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	201,073千円 (172,133千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の屋内型児童遊戯施設「CLAAPIN SAGAE（クラッピン サガエ）」と森林公園「寒河江市いこいの森」を舞台に屋内型・屋外型の、森林資源を活用した独創性のある探求教育を展開し、人材育成を行うとともに子育て世代の交流人口拡大を目指す。 ・上記2施設が連携しながら一体的に探求型教育を展開することで、両施設に相乗効果を生み、さらなる交流人口拡大を図る。 ・デジタルツールを活用し事業により生じた交流人口が市内へ回遊する仕組みを構築することで、両拠点をハブとした新たな人の流れを生み出し、交流人口による経済効果を本市地域経済・地場産業へ波及させることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「寒河江市いこいの森」に屋外型探求教育推進拠点を新設整備する。CLAAPIN SAGAE（クラッピン サガエ）」と「寒河江市いこいの森」を舞台に「探求教室さがえ」「親子向け講演会」「中高生キャンプ」など、豊かな自然環境を活かした探求型教育を展開する。アウトドアフィールドにおいて、市内外の子育て世代等への訴求力を持った、豊かな自然環境を活かした独自性のある探求教育プログラムを展開することで、本市の将来を担う人材育成を推進するとともに、子育て世代の交流人口拡大を図る。さらにこれらの交流人口が市内飲食・観光施設等へ周遊する仕組みを構築し、地場産品・サービスの消費拡大による地域経済循環を創出し、人材育成・経済の両面から地場産業を支援する仕組みを構築する。					地域と共に成長する森林資源を活用した寒河江型探求教育推進プロジェクト 屋内型・屋外型を組み合わせた独創性ある 寒河江型コンテンツ創出 子どもの主体性や創造性を育む探求学習の場 屋内「CLAAPIN SAGAE」 屋内型探求学習拠点(既存) プログラム展開▶さらなる利活用促進 屋外「寒河江市いこいの森」 屋外型探求学習拠点の整備(新規) ▶森林活用型プログラム展開 子育て世代中心の 交流人口拡大 稼ぐ力向上・人材確保 地場産業支援 学ぶ力向上 (課題解決能力・非認知能力) 地域産業の理解促進 地場産品・サービス 消費拡大による 地域経済循環 地域産業を支える 人材育成	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・子育て世代に訴求力を持つ独創性のある探求型教育を展開（委託料）10,500千円 ・事業により生まれた交流人口が回遊する仕組みを構築（委託料）1,000千円 ○拠点整備事業 ・建築工事費 153,109千円 ・土工工事費 7,524千円						
主なKPI	①年少人口数（+0人） ②子育て世代の交流人口数（+15,000人） ③地域における地場産品消費額（+144百万円） ④探求学習教育プログラム参加者数（+900人） ⑤屋外型探求教育プログラムの満足度（+100%） ⑥子育て世代の交流人口のうちデジタルスタンプラリー利用者数（+6,600人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sagae.yamagata.jp/shisei/zaisei/chiikimirai.html

事業概要：グラウンド・ゴルフ場整備事業

～「ネオ・クアオルト」の加速：人々のリカバリーを通じた経済循環の創出～

新規

申請者	山形県上山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	234,199千円 (67,571千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	グラウンド・ゴルフ場の整備により、本市独自の誘客産業である「クアオルト」事業の核となる大人数向けヘルスアッププログラムを充実させ、市内における同時受入れ体制を強化することで、「クアオルト」の認知・普及を促進し、交流人口の増加を図る。 併せて、大人数向けプログラムへの参加による滞在時間の延長を踏まえ、宿泊・観光・飲食等の周遊を促す情報発信を行うことで、宿泊需要及び消費需要を創出し、地域の付加価値向上及び本市の「強い経済」づくりに寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 世代を選ばず、楽しみながら取り組むことができ、滞在時間を延ばすことができる運動プログラムとして、グラウンド・ゴルフを選定し、かみのやま温泉インター産業団地内の緑地に、関係規格・安全基準に適合する常設グラウンド・ゴルフ場を新設整備する。 ●施設整備概要 整備場所：かみのやま温泉インター産業団地内の緑地 グラウンド・ゴルフ場：3コース、芝生エリア約8,110㎡ ※芝生エリアに起伏をつけ、カップの位置を固定せず任意に設置できるようにし、都度コースの変化をつけてゲーム性を高められるようにする。 駐車場：敷砂利約1,050㎡ 給水設備：水飲場・給水管延長約100m 排水設備：暗渠排水φ100・延長約734m 構造物：L型擁壁高さ1.5～3.0m・延長約212m 付帯施設：外周柵、樹木、ベンチ等サービス施設、トイレ、サイン						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・設計等業務 11,341千円 ・建設本体工事費 56,230千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増減数（+141人） ②宿泊者数（+72,134人） ③グラウンド・ゴルフ場利用人数（+3,000人） ④グラウンド・ゴルフ場での大会開催回数（+11回） ⑤健康寿命の延伸（+0.25年）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要： 中心市街地のにぎわい創造としごと創出事業

旧制度（推進）

申請者	山形県村山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	49,720千円 (16,640千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・若年層や移住者が住みたいと思えるような仕事環境を整える。 ・市内の空き店舗と起業創業を考える事業者とのマッチング。 ・「Link MURAYAMA」と「飴葉プラザ」を中心に市内事業者、新規事業者とともに新たな仕事の創出、新たな雇用の創出を生み出し、中心市街地の再開発。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中心市街地の賑わいと仕事を創出するため、空き店舗の利活用や起業、特産品を使った新規事業を支援する。また、市内企業と首都圏の企業のマッチング事業により新たな仕事と雇用の創出を図り、移住支援をおこなう。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・中心市街地雇用創出事業 8,020千円 空き店舗等を活用した新規起業事業者とのマッチングと、市内企業とともに新しい仕事や雇用の創出 ・UIターン促進事業 3,470千円 市内企業の販路開拓を図り、新たな仕事と雇用の拡大 ・移住・定住促進事業 2,150千円 首都圏等からの就職または起業家の不安を解消し、移住につなげる		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規雇用者数（+83件） ②企業支援効果額（+28,500千円） ③空き店舗を活用した起業家数（+15人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.murayama.lg.jp/shisei/keikaku_seisaku/keikaku/machihitosigoto.html

事業概要：デジタルツールを活用した産業活性化事業

継続

申請者	山形県村山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	66,801千円 (23,534千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	労働力不足の事業者へデジタルツールを活用し短期労働人材を募集し労働力と地域特産品を確保する。特産品をECサイトで販売するためのデジタルサポートを行い、販路拡大と収益の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農業従事者の高齢化や人口減少による人手不足により、収穫されずに放置された果樹が見られた。人手不足を解消するために、デジタルツールを活用し広く人材を募集し労働力を確保し、農業事業者の収量増に繋げ、余剰分をECサイトで販売するためのサポートを行い、販路拡大と収益の拡大を目指し、稼げる農業、魅力ある農業にし若者の新規就農に繋げる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域産業デジタル活用事業 労働力確保デジタルサポート（委託料）4,466千円 人材育成（委託料）5,850千円 情報配信PR（委託料）495千円 PR動画作成（委託料）1,650千円 ・デジタルサポート事業 オンライン販売サポート（委託料）9,000千円 オンライン販売導入サポート（委託料）1,070千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農業就労者数（+420人） ②販路拡大サポート事業者数（+20者） ③ECサイト販売金額（+30,000千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.murayama.lg.jp/s-hisei/keikaku_seisaku/keikaku/mach-ihitosigoto.html

事業概要：観光振興活性化プロジェクト事業

新規

申請者	山形県村山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	125,978千円 (41,658千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、体験型観光コンテンツの開発とSNS等のデジタル活用により、通過型から滞在型観光への転換を図り、国内外からの観光客拡大を目指すものである。これにより宿泊・飲食等の消費を促進し、観光産業の持続可能な発展と地域経済の拡大に寄与する。加えて、新たな雇用の創出や人材確保・定着を促し、高齢化や担い手不足といった地域課題の解決につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 インバウンドを視野に観光地のブラッシュアップを進め、点在する地域資源を横断的に結び付けた周遊・体験メニューの造成を行うとともに、SNSや多言語サイト等を活用した情報発信を強化する。居合神社における武術体験の充実や近隣温泉との連携による滞在型観光の推進、東沢バラ公園の魅力向上を図るほか、動画配信やふるさと納税寄附者への周知により認知度向上と誘客拡大を図ることで、関係人口の創出と観光産業の活性化、人材確保につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・居合道旅行商品振興業務（委託料）2,345千円 ・webサイト多言語翻訳作成業務（委託料） 330千円 ・観光資源活用イベント・PR業務（委託料）12,739千円 ・動画作成配信業務（委託料） 3,000千円 ・PR情報配信業務 15,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+565.5百万円） ②東沢バラ公園来場者数（+6,000人） ③居合道外国人体験者数（+30人） ④SNSフォロワー数（+750人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.murayama.lg.jp/s-hisei/keikaku_seisaku/keikaku/mach-ihitosigoto.html

事業概要：持続可能な農業振興プロジェクト事業

新規

申請者	山形県村山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	40,569千円 (13,117千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市重点作物と地域特産品のブランド化を展開し、稼げる農業、魅力ある農業を目指し、新規就農者の増加に繋げる。 ・農作物の収穫体験や農業イベントを通して、農業、農作物に触れてもらい知名度の向上に繋げる。 ・地域特産品の生育環境の整備を行い、収量増加を目指し、販路拡大に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、本市の重点作物4品目および特産品である天然ジュンサイについて、情報発信や体験型事業を通じて認知度とブランド力の向上を図り、将来にわたる持続可能な生産体制の確保を目的として実施するものである。就農イベントやSNSを活用したPR、農業体験や就農相談等を一体的に展開するとともに、観光と連動した収穫体験や移動販売、道の駅での販売を通じて、市民および観光客に本市農産物の魅力に触れる機会を拡大し、ブランド化と販売機会の創出につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・新規就農募集、支援（負担金） 4,380千円 ・地域資源利活用推進事業（委託料） 6,919千円 収穫体験、農業イベント等の開催を行う ・特産品販路拡大支援事業 1,236千円 特産品の生育環境の整備、収穫イベント等の開催を行う						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物産出額（+15千万円） ②新規就農者数（+30人） ③地域資源利活用推進事業体験者（+300人） ④天然ジュンサイ収穫量（+200kg）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.murayama.lg.jp/shisei/keikaku_seisaku/keikaku/machihitosigoto.html